

景気動向調査結果

(令和4年1月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 4 年 1 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 4 年 2 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、439 社（製造業 236 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 203 社）で、回答率は 62.7 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

令和4年1月の景気動向

1 総論

長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるなか、持ち直しの動きに一服感がみられます。

製造業の業況は、一部に新型コロナウイルス感染症による需要の減少や部品不足の影響がみられるものの、海外経済の改善もあって、電機・電子、機械及び精密などで受注、生産が堅調に推移していることから、4期連続のプラス水準となりました。

非製造業の業況は、建設業などで悪化したものの、飲食業や宿泊業などで、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に悪化した前年よりは改善し、全体では3期ぶりの改善となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和3年1月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は37.1となり、前回調査時（令和3年10月）の34.8から2.3ポイント改善しました。

3か月前（令和3年10月）と比較したD Iは△3.4となり、前回調査時の7.4より10.8ポイント悪化し、6期ぶりのマイナス水準となりました。

また、3か月後（令和4年4月）の予想では、D Iは2.2となり、4期連続のプラス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。プリンターは、在宅需要が継続しており、受注は順調に推移しているものの、部品不足の影響により、生産に足踏みがみられます。半導体関連は、国内外の半導体需要の高まりにより、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が増加しています。抵抗器・コンデンサ等は、国内外の需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産に増加がみられます。

イ 一般機械では、工作機械は、一部に部品不足の影響がみられるものの、半導体市場の活況により、半導体関連向けで受注、生産が順調に推移しているほか、自動車関連では、国内向け、海外向けともに、受注、生産が堅調に推移しています。建設機械は、国内向けでは、受注、生産は底堅く推移しているほか、北米や欧州など海外向けでは、需要の回復により、受注、生産が堅調に推移しています。

ウ 精密では、時計は、外出機会の減少が続いており、国内の需要が低迷しているものの、北米や欧州など海外向けでは、需要の増加により、受注、生産に回復がみられます。レンズは、自動車関連向けで自動車減産の影響を受け、受注、生産が弱含んでいるものの、通信機器向け等で需要の増加により、受注、生産が順調に推移しています。圧力計は、半導体関連向けを中心に、受注、生産が順調に推移しています。LPガスメーターは、取替需要の減少などにより受注、生産に一服感がみられます。

エ 自動車部品では、部品不足に伴う完成車メーカーの減産により、国内向け、海外向けともに、受注、生産に足踏みがみられます。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。酒類は、清酒やワインは、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。飲料は、季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が減少しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が57.2%と前回(55.0%)より増加し、「減少」とする企業が17.8%と前回(19.0%)より減少した結果、D Iは前回(36.0)より改善し、39.4となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が23.1%と前回(31.3%)より減少し、「減少」とする企業が26.1%と前回(18.8%)より増加した結果、D Iは前回(12.5)より悪化し、△3.0となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が21.4%、「減少」とする企業が17.0%となった結果、D Iは4.4となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が53.0%と前回(52.7%)よりやや増加し、「減少」とする企業が21.2%と前回(23.0%)より減少した結果、D Iは前回(29.7)より改善し、31.8となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が22.2%と前回(32.5%)より減少し、「減少」とする企業が25.6%と前回(21.5%)より増加した結果、D Iは前回(11.0)より悪化し、△3.4となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が24.3%、「減少」とする企業が17.0%となった結果、D Iは7.3となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が26.3%と前回(18.6%)より増加し、「安い」とする企業が5.5%と前回(7.4%)より減少した結果、D Iは前回(11.2)より改善し、20.8となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が14.5%と前回(11.2%)より増加し、「安い」とする企業が3.8%と前回(2.9%)より増加した結果、D Iは前回(8.3)より改善し、10.7となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が19.0%、「安い」とする企業が4.3%となった結果、D Iは14.7となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が16.7%と前回(16.6%)とほぼ同じで、「苦しい」とする企業が12.3%と前回(11.5%)より増加した結果、D Iは前回(5.1)より悪化し、4.4となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が8.0%と前回(6.4%)より増加し、「苦しい」とする企業が13.8%と前回(12.3%)より増加した結果、D Iは前回(△5.9)とほぼ同じ、△5.8となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が5.0%、「苦しい」とする企業が14.0%となった結果、D Iは△9.0となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が30.6%と前回(35.5%)より減少し、「低下」とする企業が32.8%と前回(28.5%)より増加した結果、D Iは前回(7.0)より悪化し、△2.2となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が11.2%と前回(13.2%)より減少し、「低下」とする企業が34.1%と前回(28.9%)より増加した結果、D Iは前回(△15.7)より悪化し、△22.9となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が7.5%、「低下」とする企業が26.3%となった結果、D Iは△18.8となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。プリンターは、在宅需要が継続しており、受注は順調に推移しているものの、部品不足の影響により、生産に足踏みがみられます。

(半導体関連・プリント基板) 国内外の半導体需要の高まりにより、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が増加しています。

(抵抗器・コンデンサ等) 国内外の需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が増加がみられます。

(モーター等) 航空機向けは、旅客を見込んだ需要の増加により、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。産業用途、自動車関連向けは、国内外の需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。

(その他) カーナビゲーションは、国内需要の増加などにより、受注は堅調に推移しているものの、自動車減産の影響を受け、生産は弱含んでいます。

一般機械

(工作機械) 一部に部品不足の影響がみられるものの、半導体市場の活況により、半導体関連向けで、受注、生産が順調に推移しているほか、自動車関連では、国内向け、海外向けともに、受注、生産が堅調に推移しています。

(金型) 自動車関連向けで、一部に自動車減産の影響を受けているものの、受注、生産が持ち直しています。

(建設機械) 国内向けでは、受注、生産は底堅く推移しているほか、北米や欧州など海外向けでは、需要の回復により、受注、生産が堅調に推移しています。

(農業用機械等) 新型コロナウイルスによる買い控えの反動等による需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。

精 密

(時 計)

腕時計は、外出機会の減少が続いており、国内の需要が低迷しているものの、北米や欧州など海外では、需要の増加により、受注、生産に回復がみられます。

(レ ン ズ)

自動車関連向けで、自動車減産の影響を受け、受注、生産が弱含んでいるものの、通信機器向け等は、需要の増加により、受注、生産が順調に推移しています。

(計 器)

圧力計は、半導体関連向けを中心に、受注、生産が順調に推移しています。LPガスメーターは、取替需要の減少により、受注、生産に一服感がみられます。

自 動 車 部 品

自動車部品では、部品不足に伴う完成車メーカーの減産により、国内向け、海外向けともに、受注、生産に足踏みがみられます。

食 料 品

(味 そ)

季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。

(酒 類)

清酒やワインは、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。

(飲 料)

飲料は、季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が減少しています。

繊 維 ・ 衣 服

季節的要因や外出機会の減少により、受注、生産が弱含んでいます。

紙 ・ パルプ

ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が減少しています。

印 刷

季節的要因により受注、生産が増加しているものの、印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。

そ の 他

プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで受注、生産に持ち直しがみられます。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和3年1月）と比較したD Iは $\Delta 9.4$ となり、前回調査時（令和3年10月）の $\Delta 21.0$ より11.6ポイント改善し、3期ぶりの改善となりました。

3か月前（令和3年10月）と比較したD Iは $\Delta 36.7$ となり、前回調査時の $\Delta 1.0$ より35.7ポイント悪化しました。

また、3か月後（令和4年4月）の予想では、D Iは $\Delta 10.9$ となりました。

〔各業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、公共、民間工事ともに工事量が前年より減少し、受注件数D Iが悪化したほか、資材価格等のコスト上昇や技術者などの人材不足により、収益率D Iも悪化したことから、業況D Iは $\Delta 27.3$ と前回（ $\Delta 17.6$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 6.4$ です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、デジタル化などに対する企業の関心は高く、需要は底堅いものの、ハードウェア関連機器の入荷待ちや技術者などの人材不足により、受注件数D I、売上高D Iが悪化したことから、業況D Iは9.1とプラス水準ながらも前回（41.7）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、10.0です。

ウ 小売業

小売業では、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響がみられるものの、オミクロン株の流行に伴う内食需要の増加により、客数D I、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは $\Delta 26.7$ と前回（ $\Delta 36.5$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 25.0$ です。

エ 卸売業

卸売業では、半導体不足による影響が続き、納品の先送りや食材の仕入価格上昇による影響がみられたものの、販売価格への転嫁が継続されたことで、前年より売り上げが増加した企業が多くなり、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは19.1と前回（ $\Delta 10.0$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 5.2$ です。

オ 飲食業

飲食業では、新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う客数減少の影響が続いているものの、売り上げが大きく落ち込んだ前年よりは増加した企業が多く、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは11.8と前回（0.0）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、17.7です。

カ 宿泊業

宿泊業では、新型コロナウイルス感染症の影響は続いているものの、売り上げが大きく落ち込んだ前年よりは増加した企業が多く、売上高D Iや収益率D Iが改善したことから、業況D Iは78.6と前回（ $\Delta 13.4$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、14.3です。

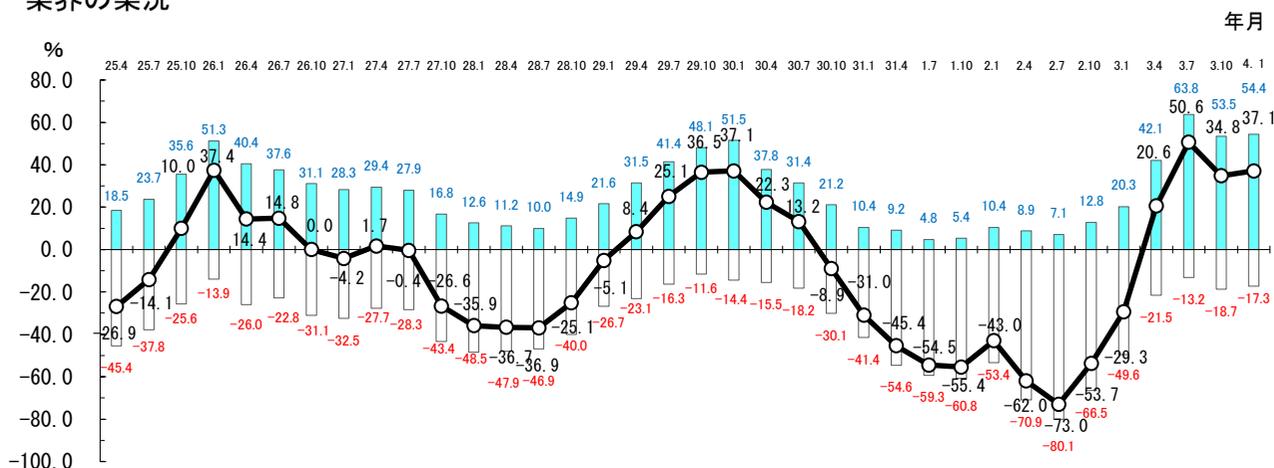
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

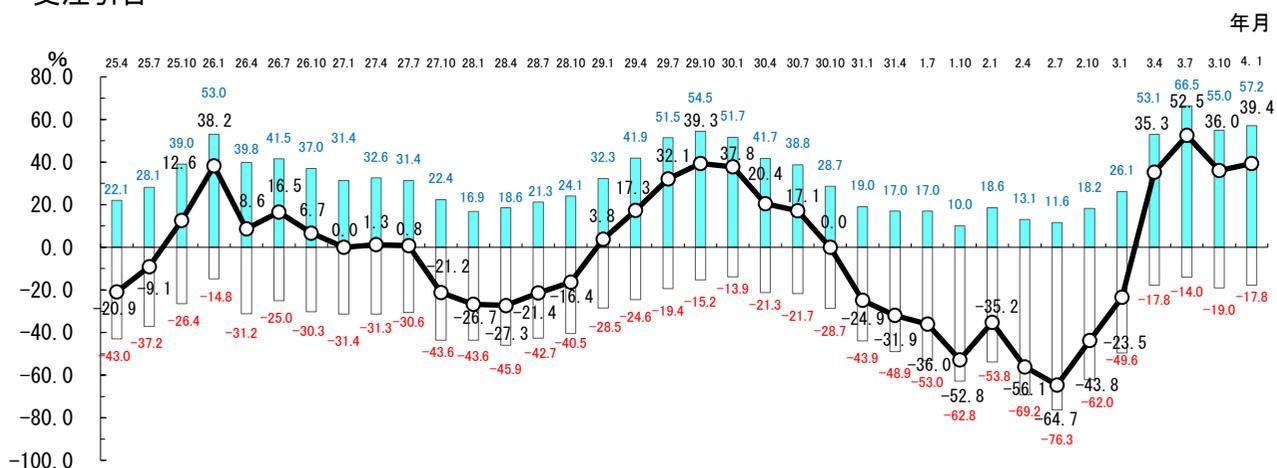
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

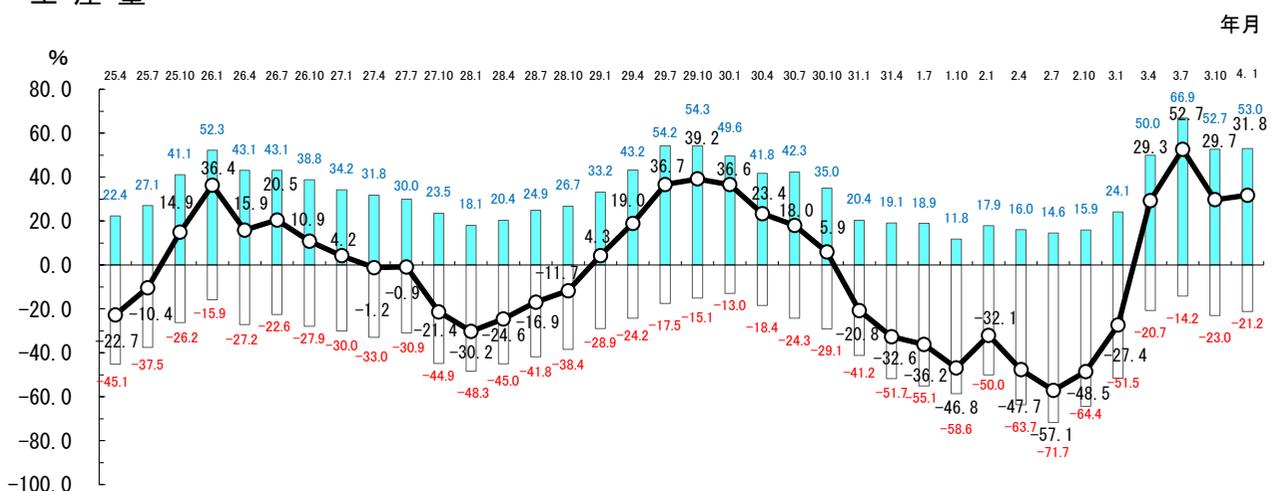
業界の業況



受注引合

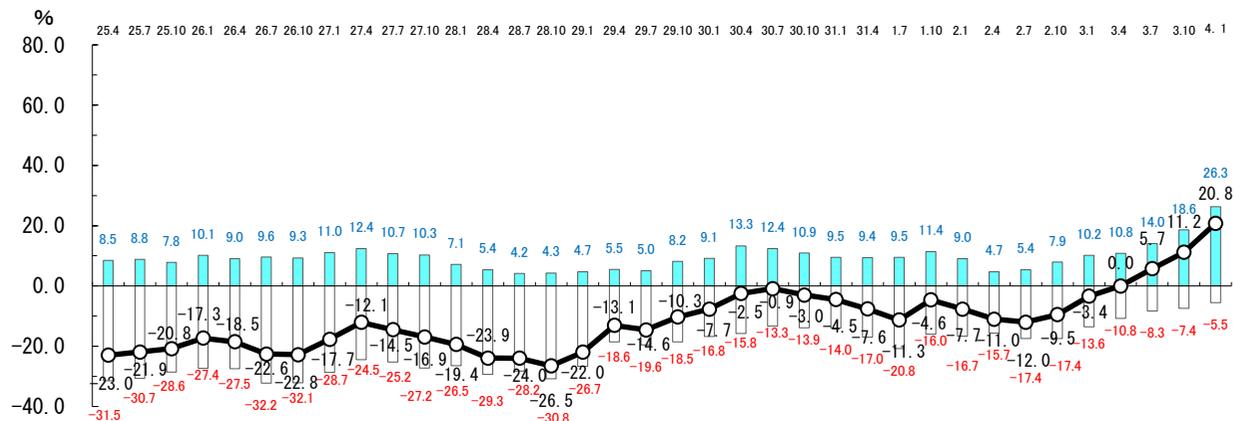


生産量



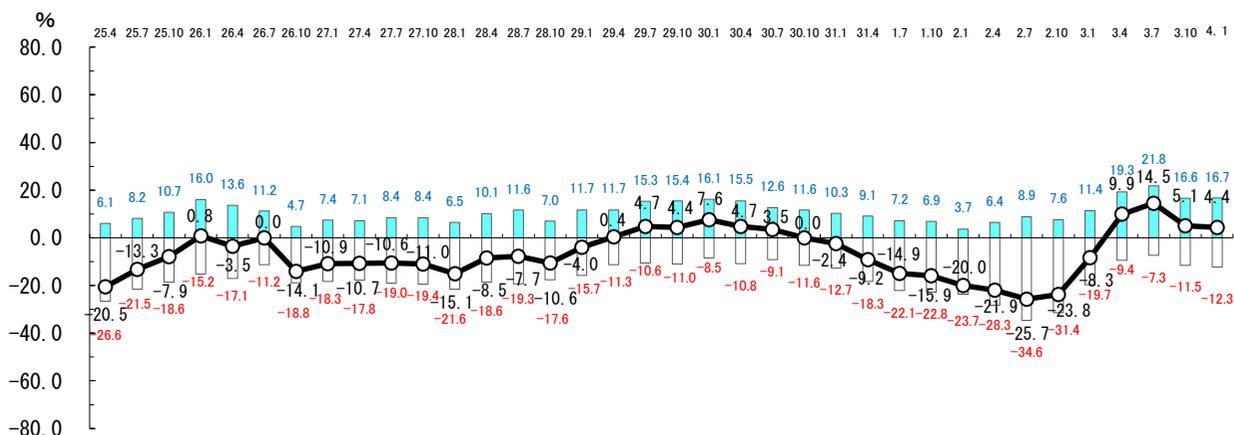
製品販売価格

年月



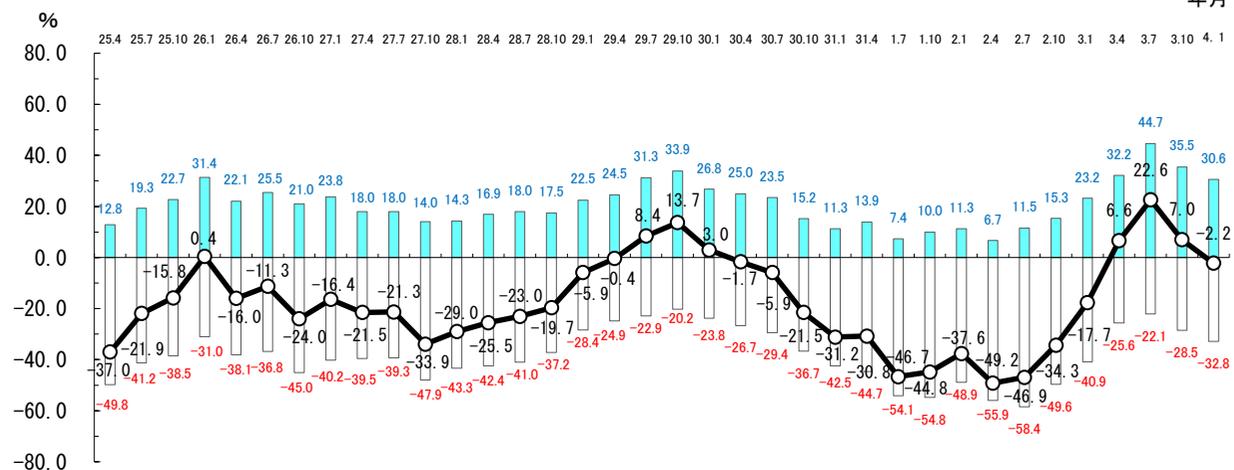
資金繰り

年月



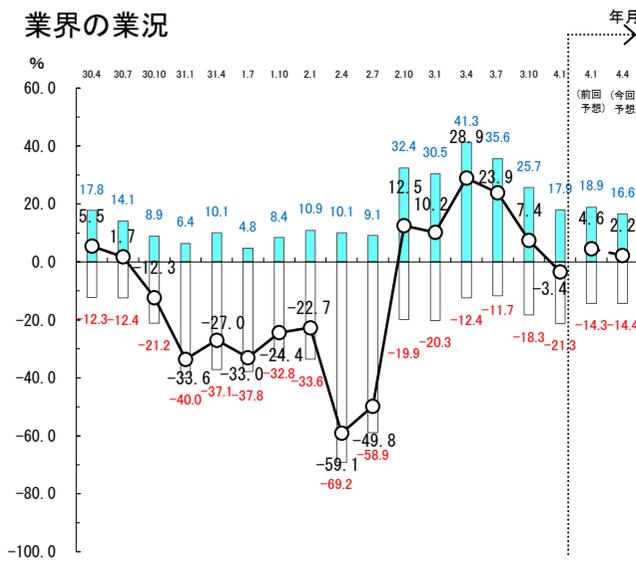
収益率

年月

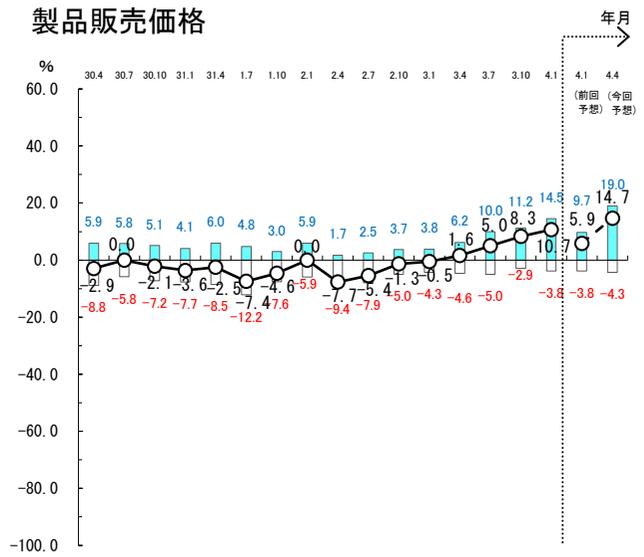


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

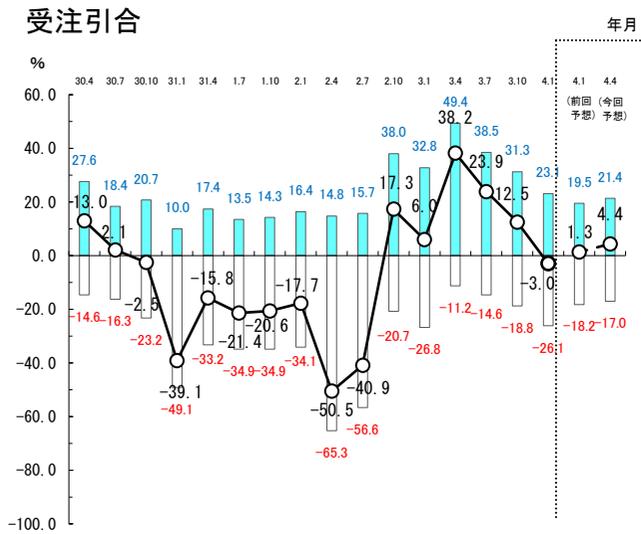
業界の業況



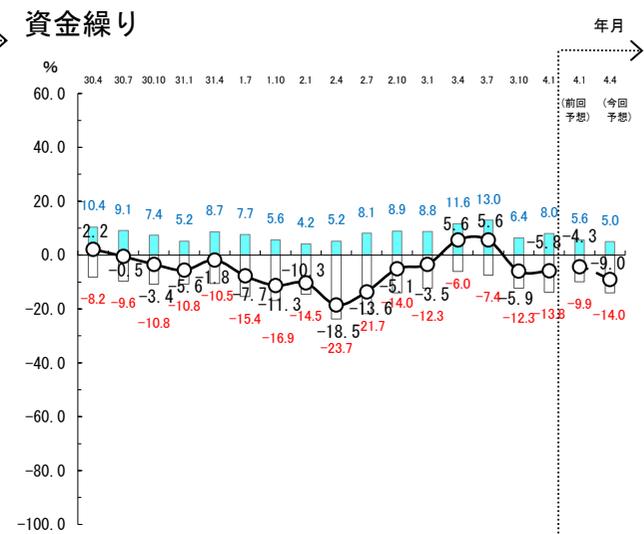
製品販売価格



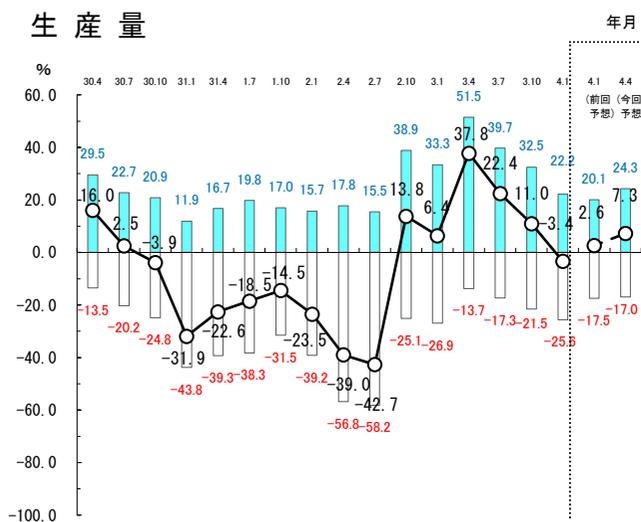
受注引合



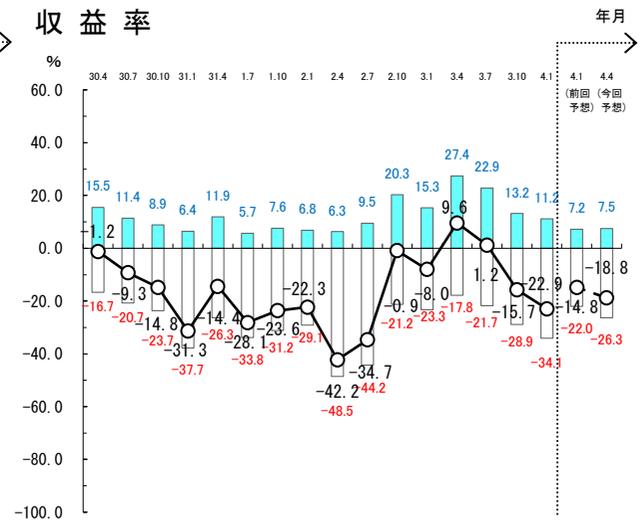
資金繰り



生産量



収益率

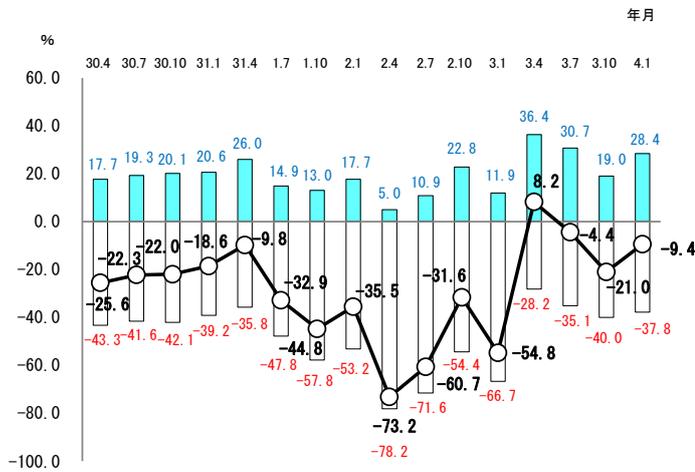


2 非製造業

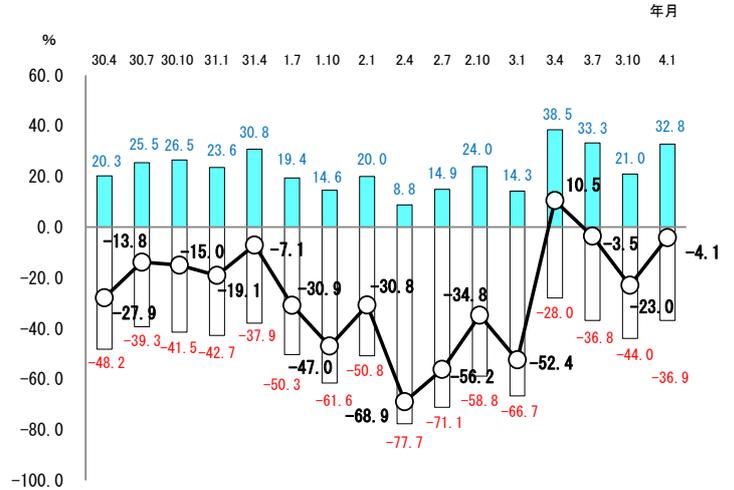
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

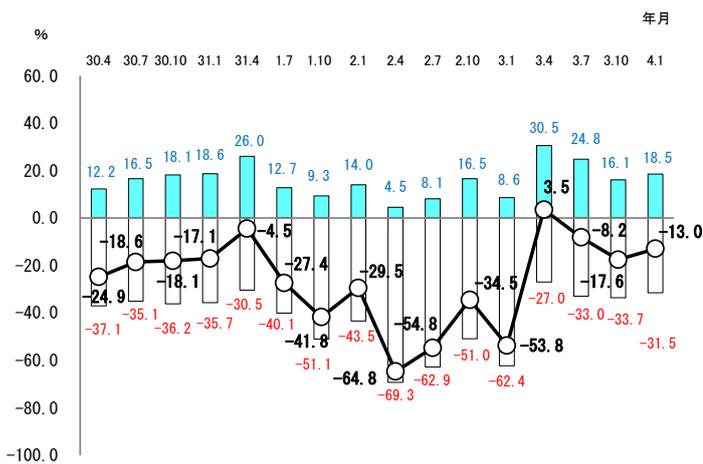
業況



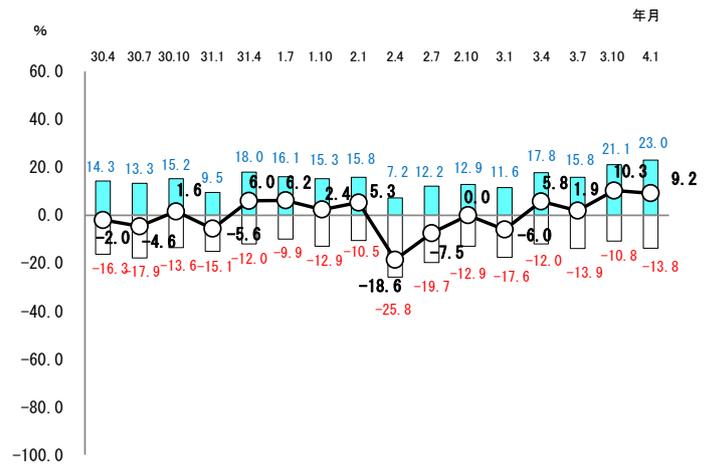
売上高



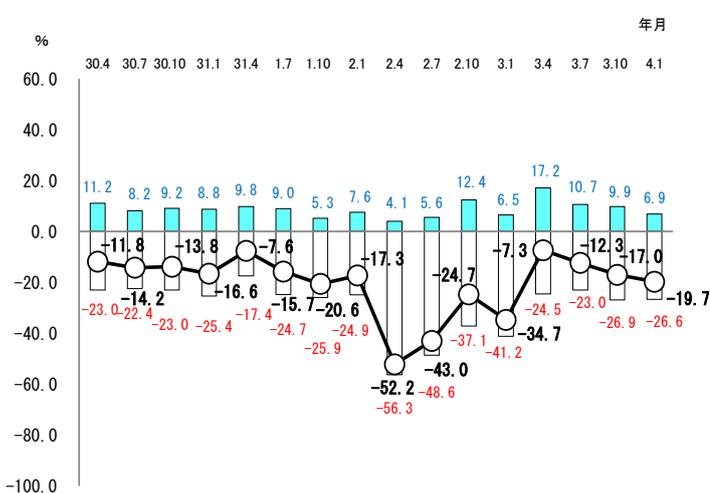
客数 (受注件数・取引先数)



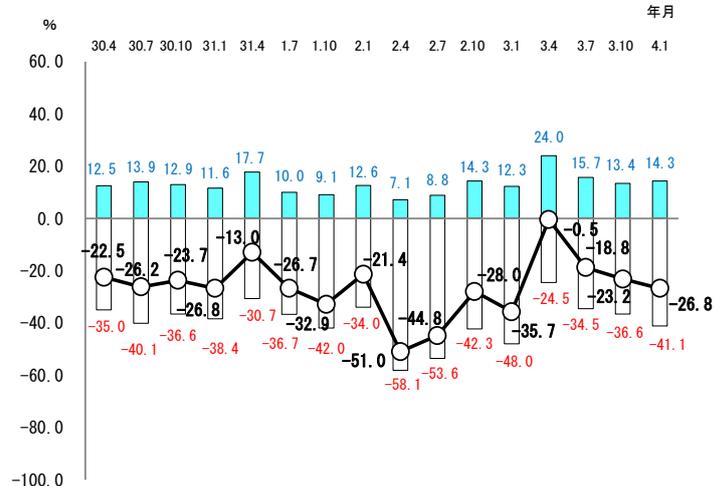
販売価格



資金繰り

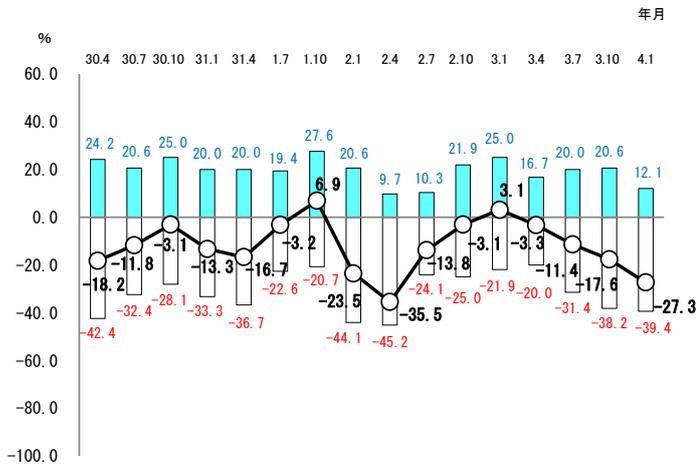


収益率

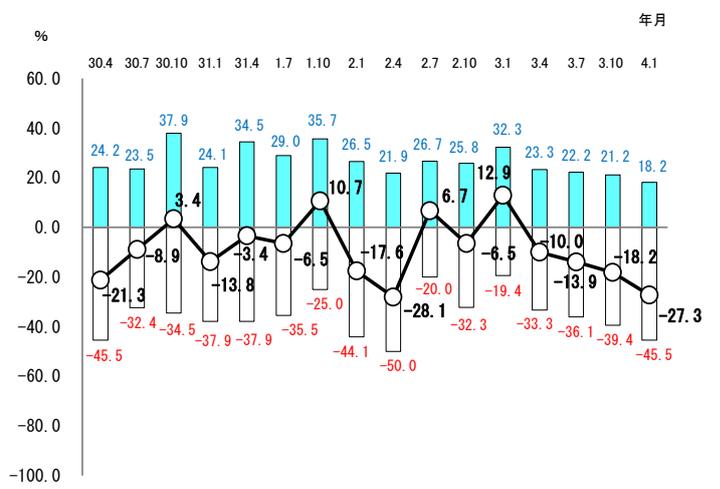


ア 建設業

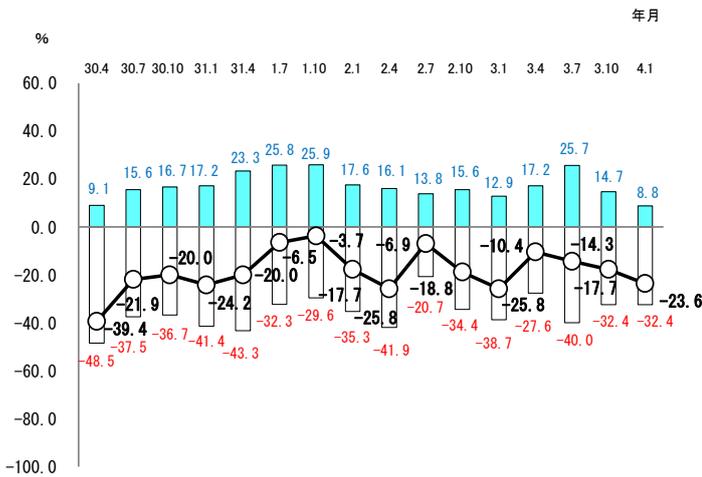
業況



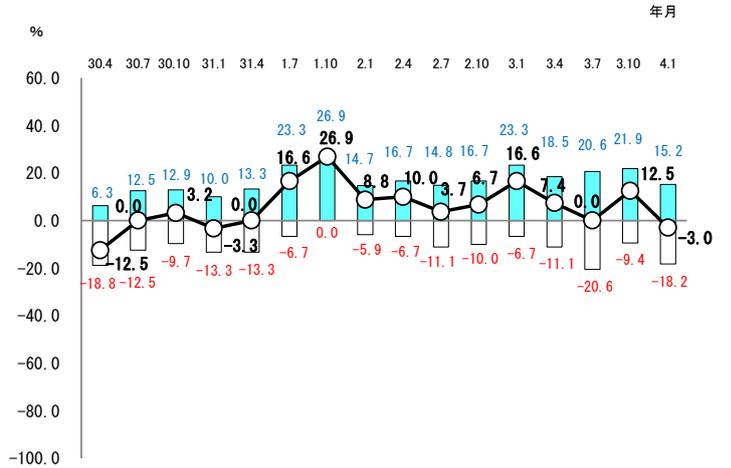
売上高



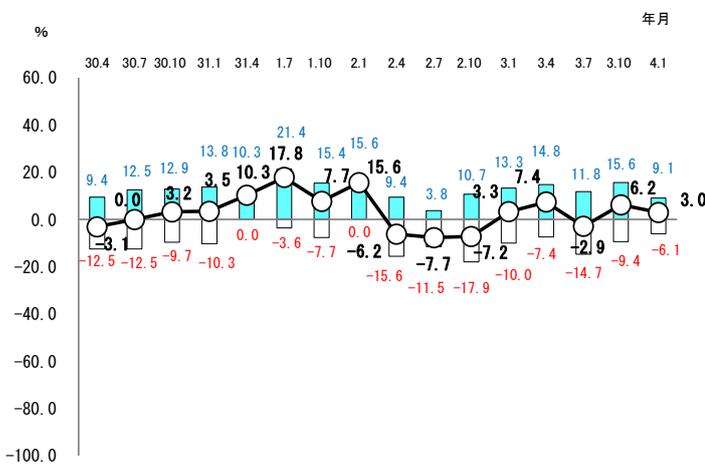
客数 (受注件数)



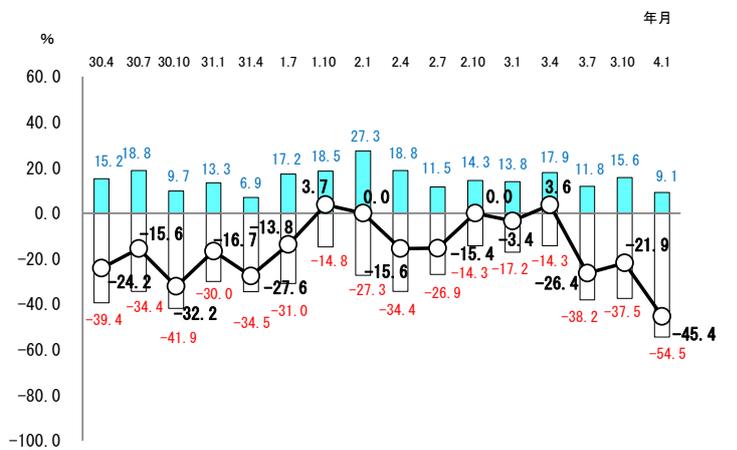
販売価格



資金繰り

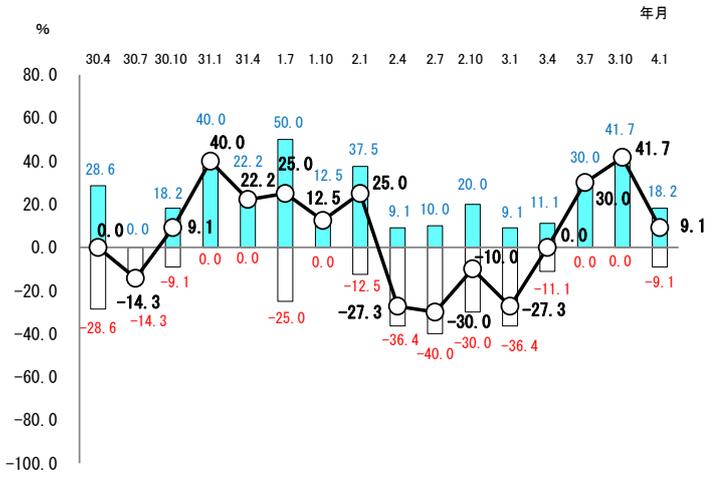


収益率

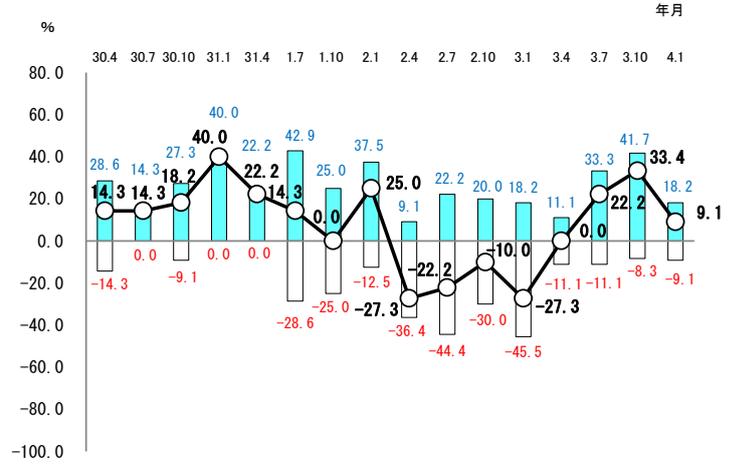


イ 情報サービス業

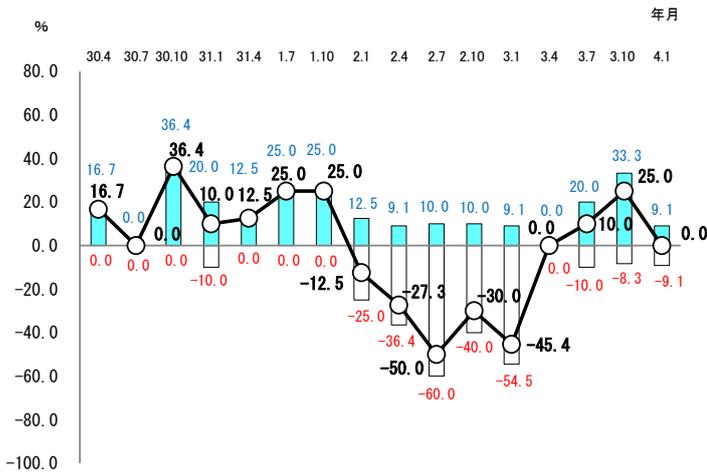
業況



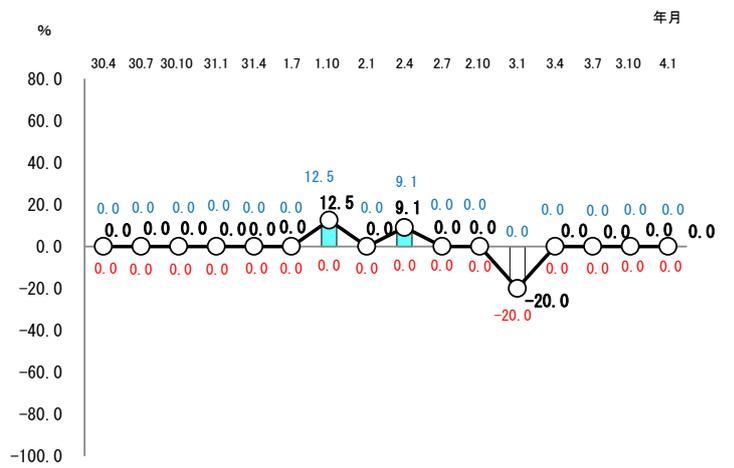
売上高



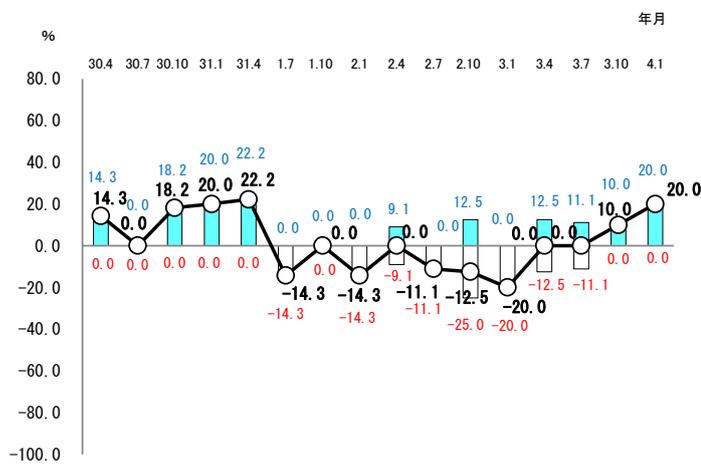
客数 (受注件数)



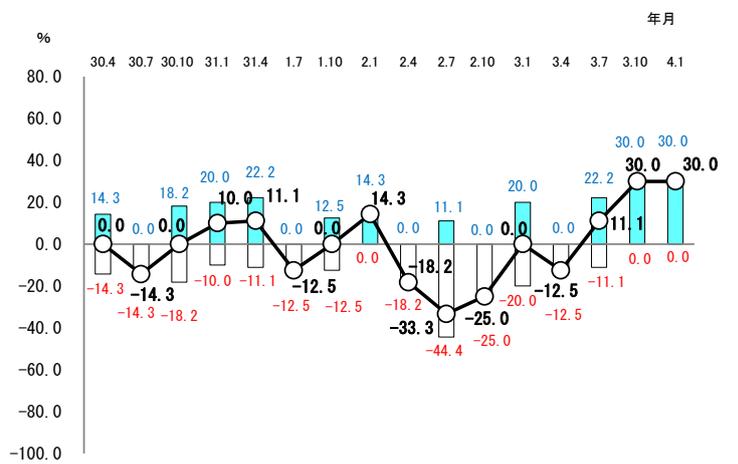
販売価格



資金繰り

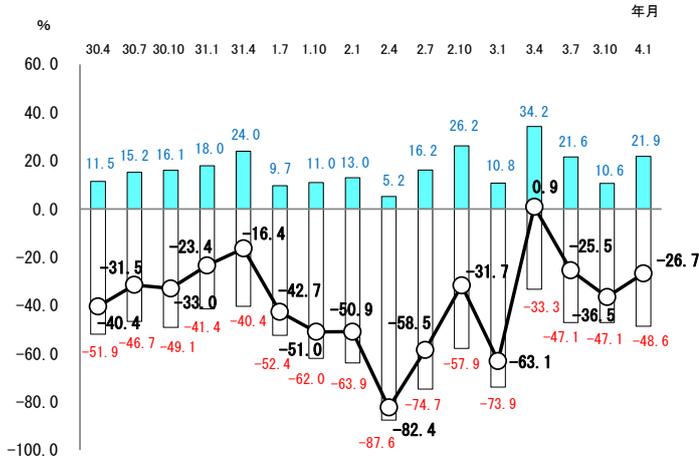


収益率

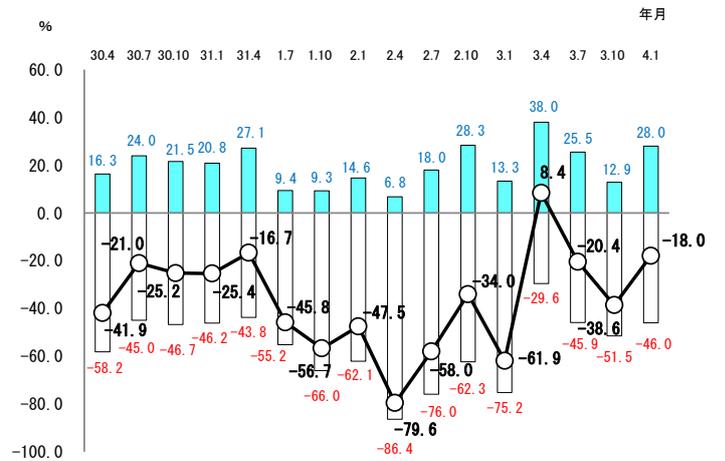


ウ 小売業

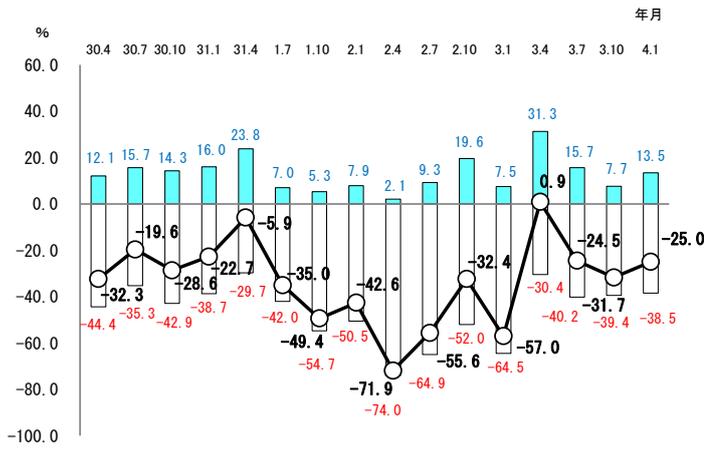
業況



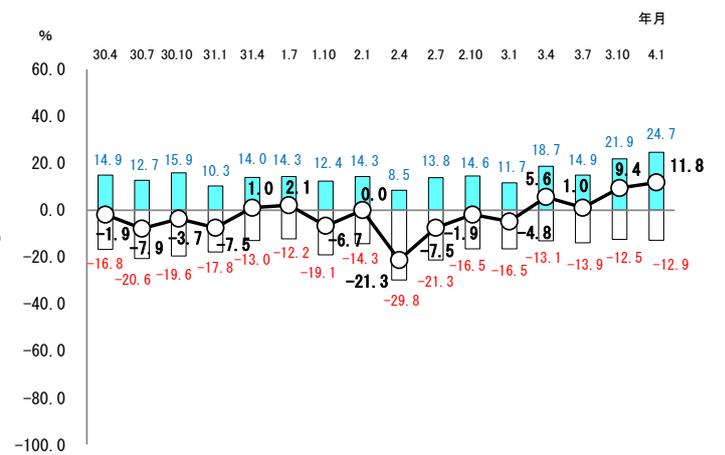
売上高



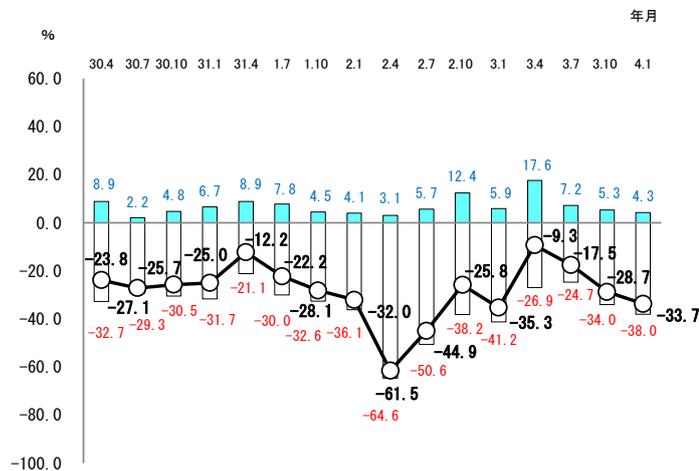
客数



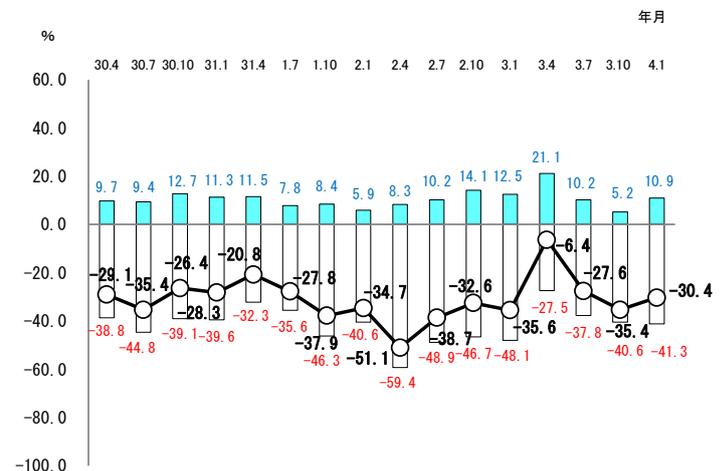
販売価格



資金繰り

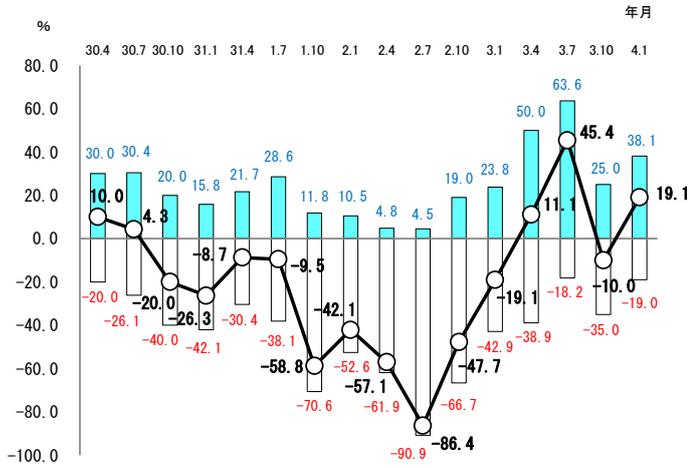


収益率

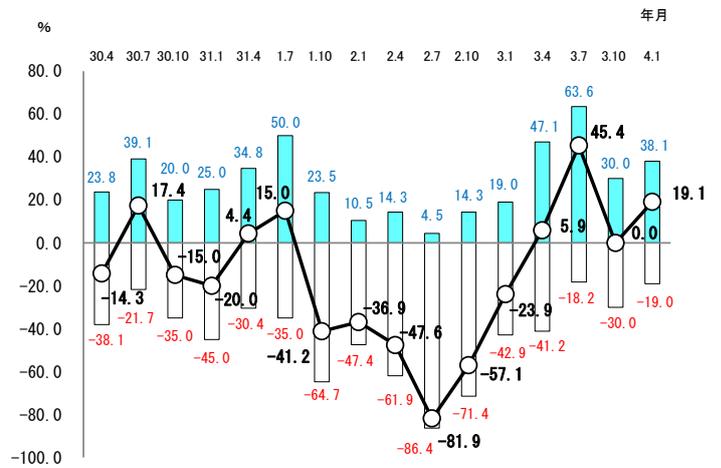


工 卸売業

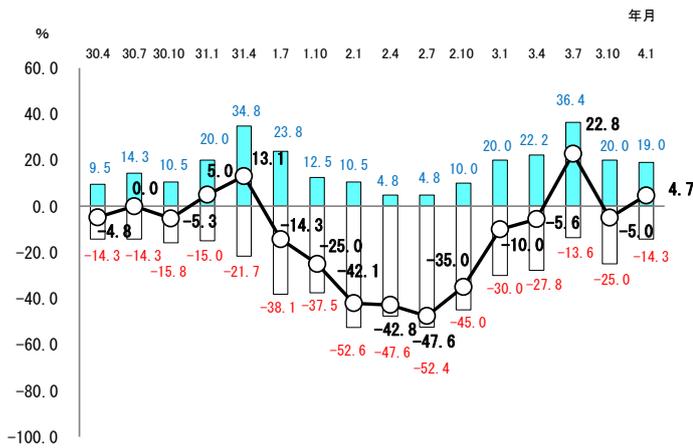
業況



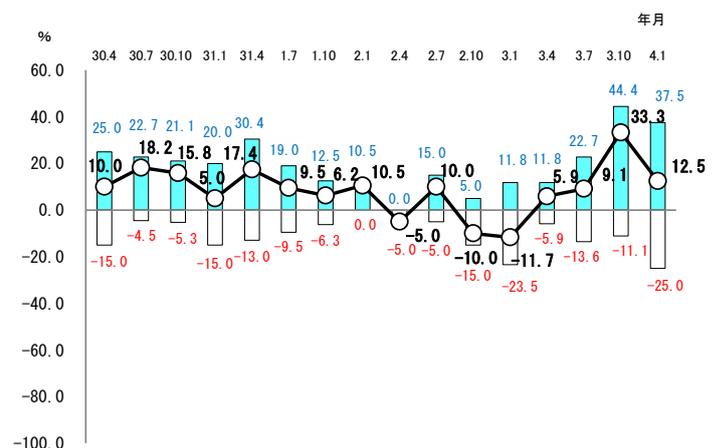
売上高



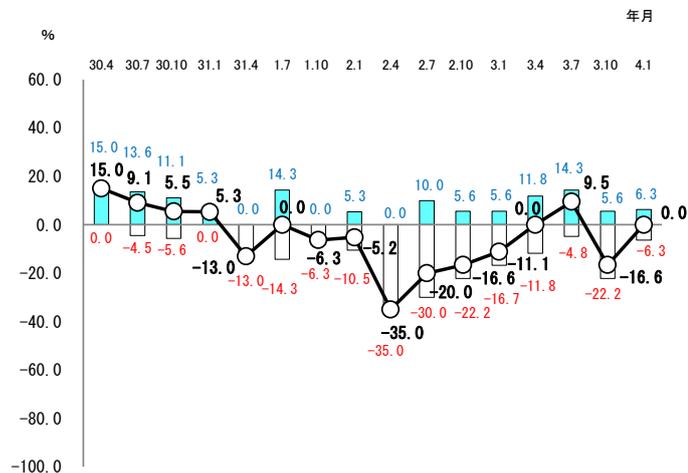
客数 (取引先数)



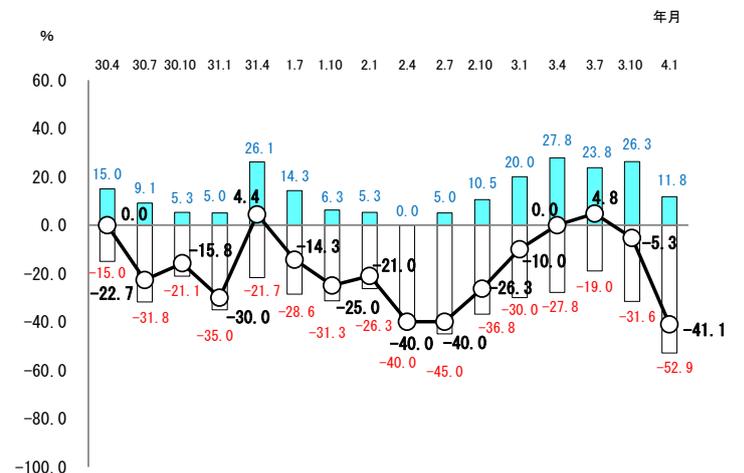
販売価格



資金繰り

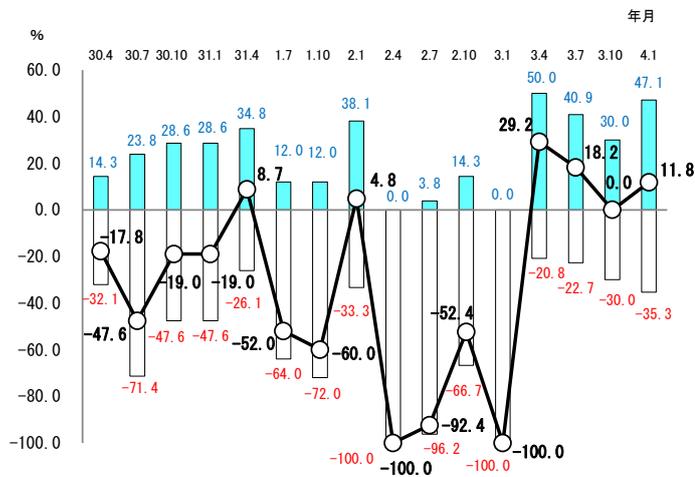


収益率

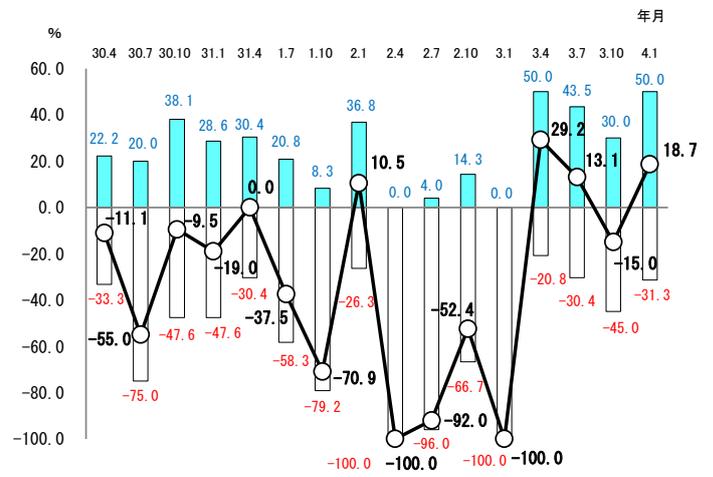


才 飲食業

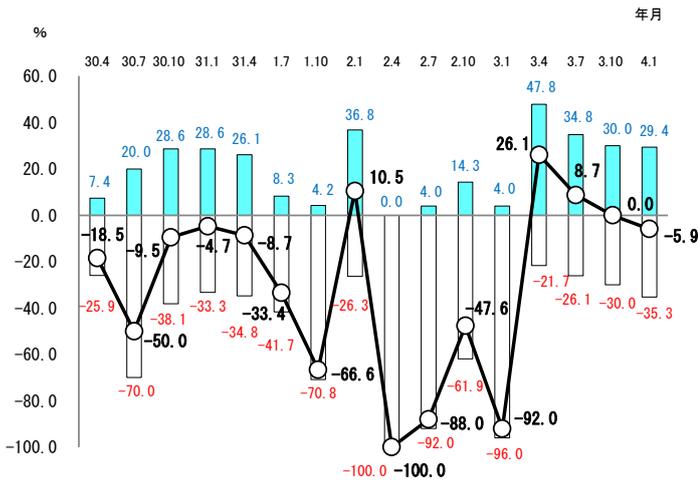
業況



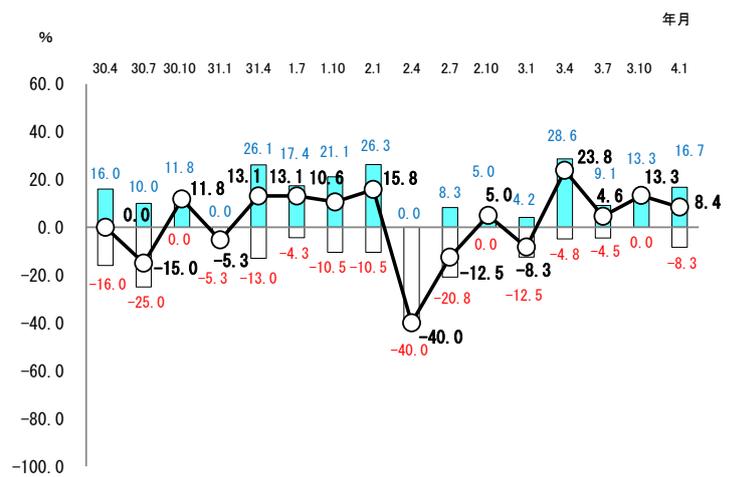
売上高



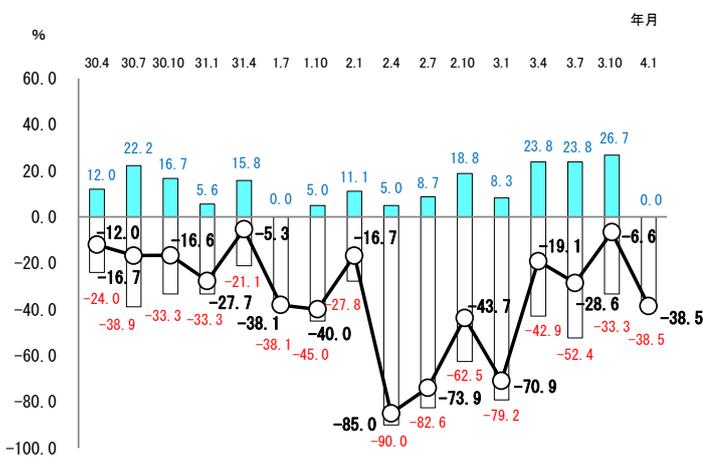
客数



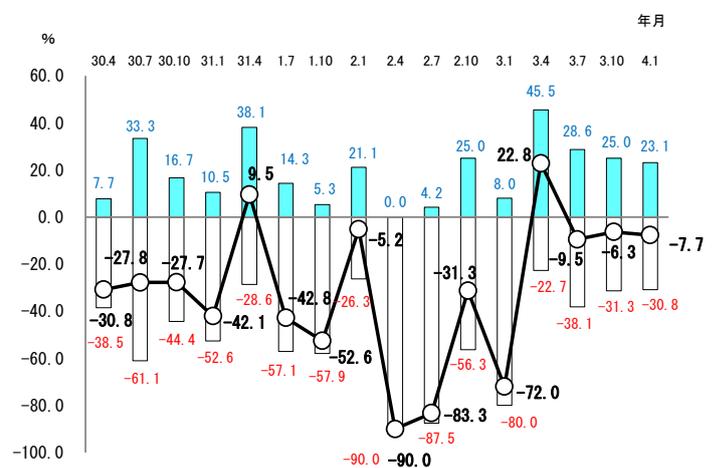
販売価格



資金繰り

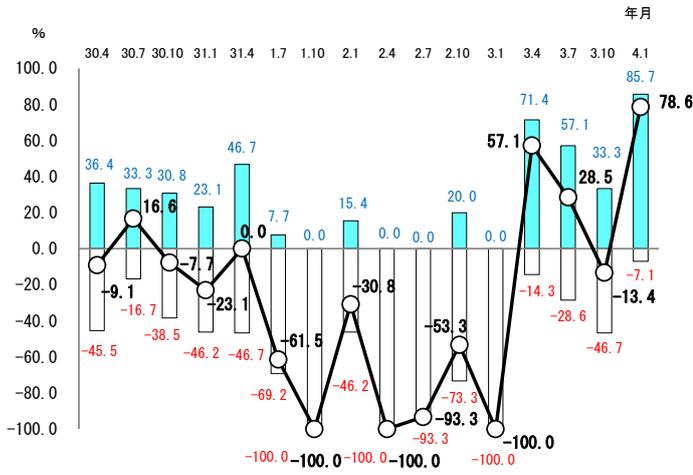


収益率

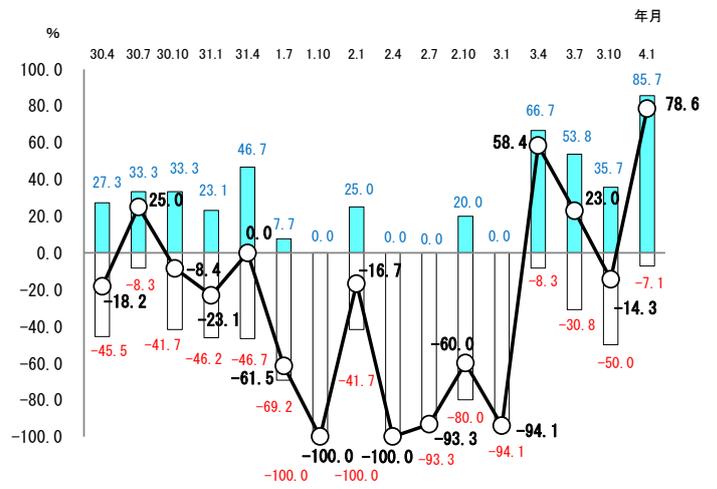


力 宿泊業

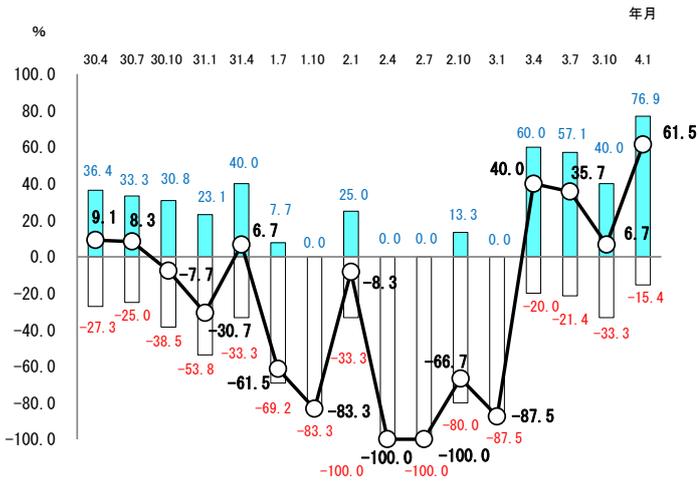
業況



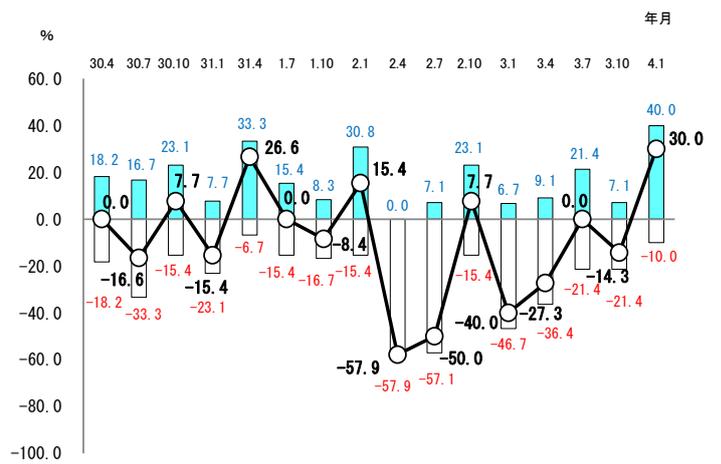
売上高



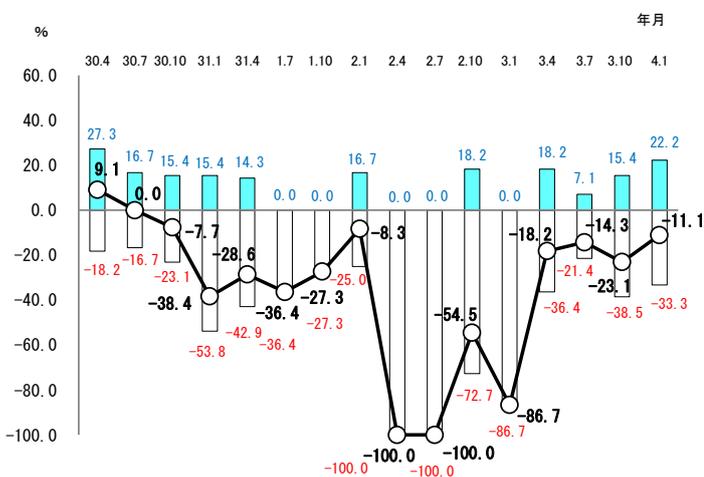
客数



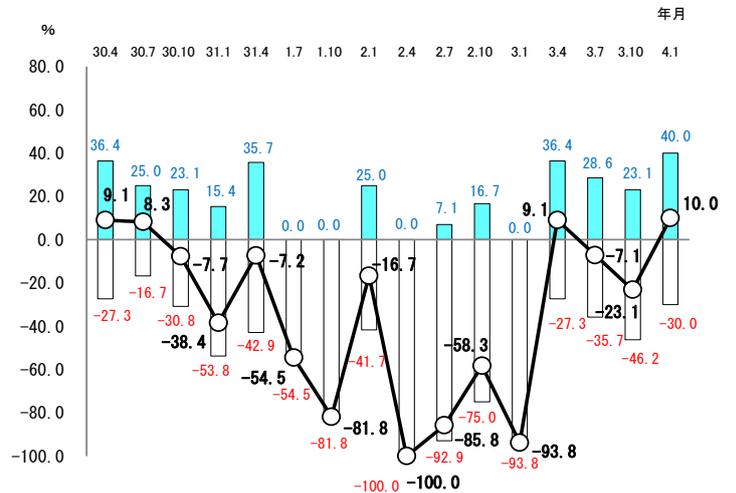
販売価格



資金繰り

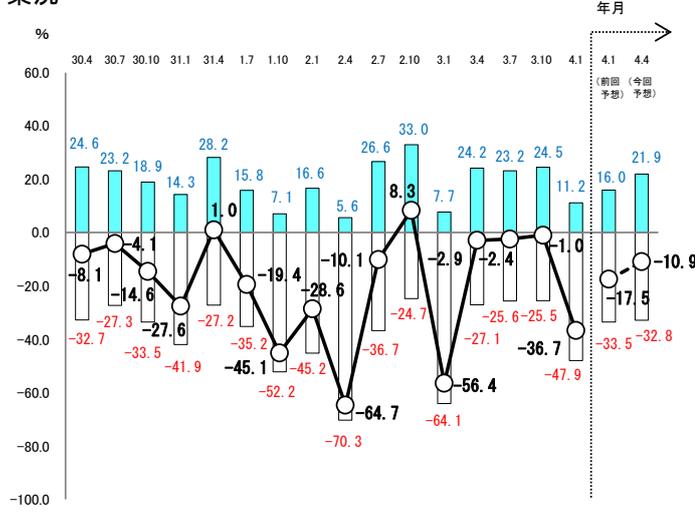


収益率

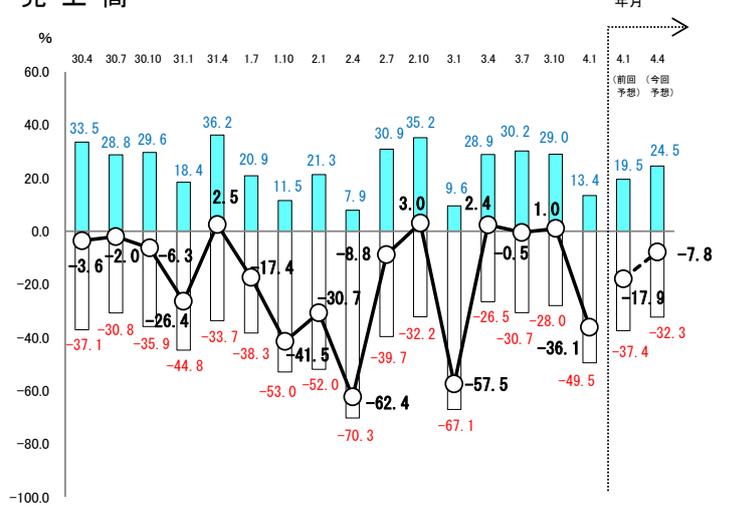


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想
非製造業全体

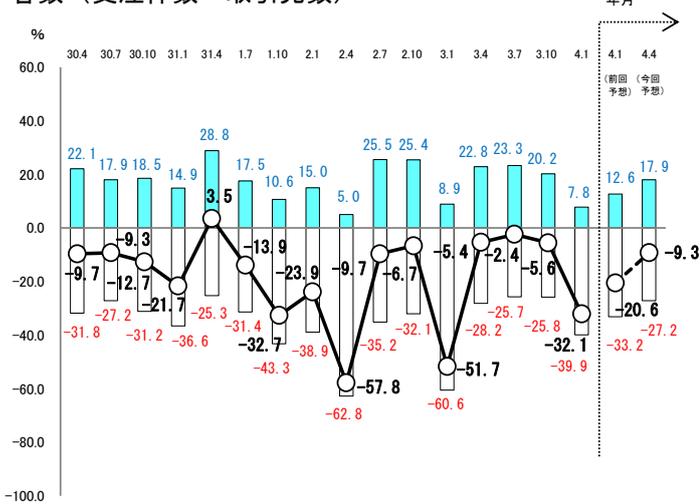
業況



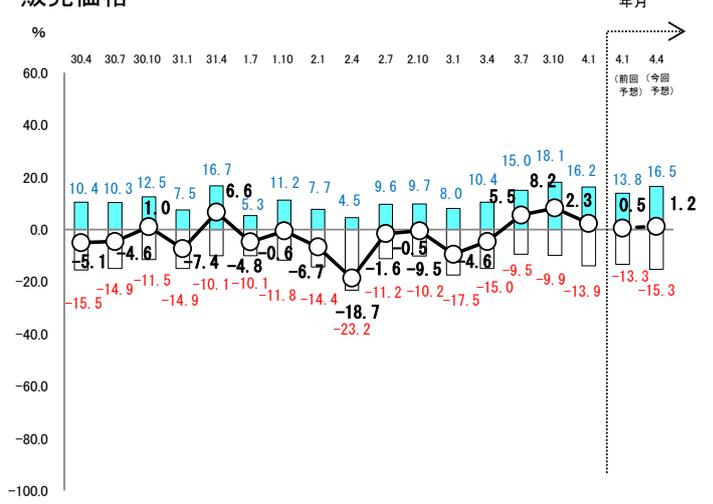
売上高



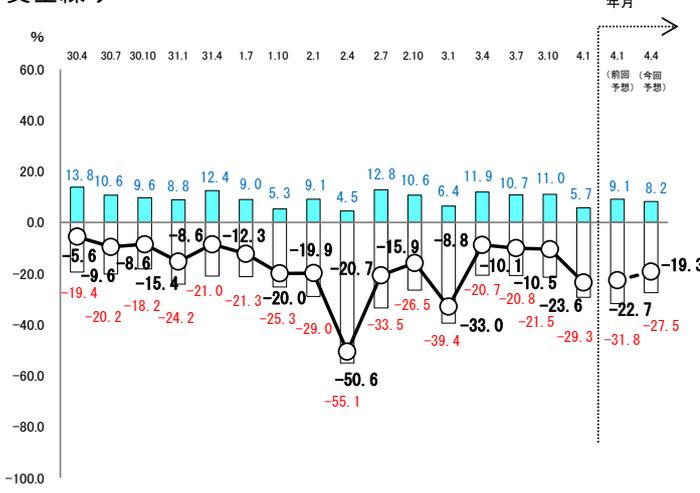
客数 (受注件数・取引先数)



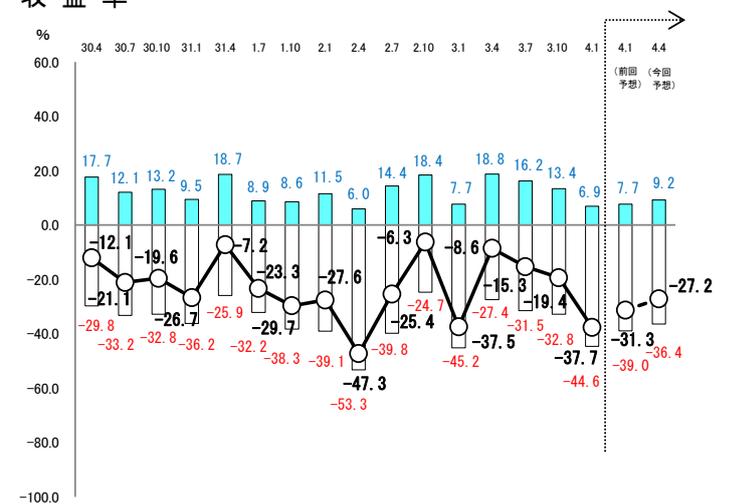
販売価格



資金繰り

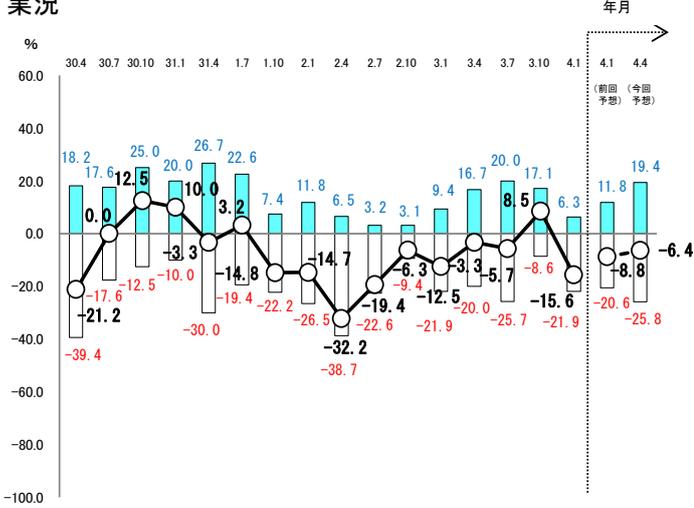


収益率

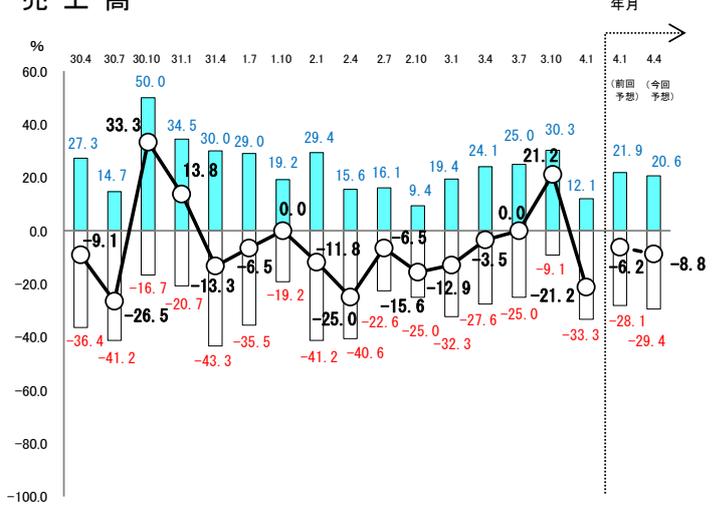


ア 建設業

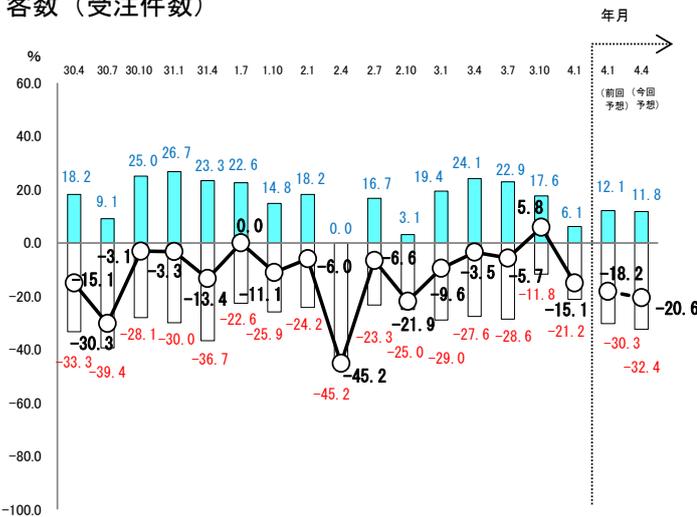
業況



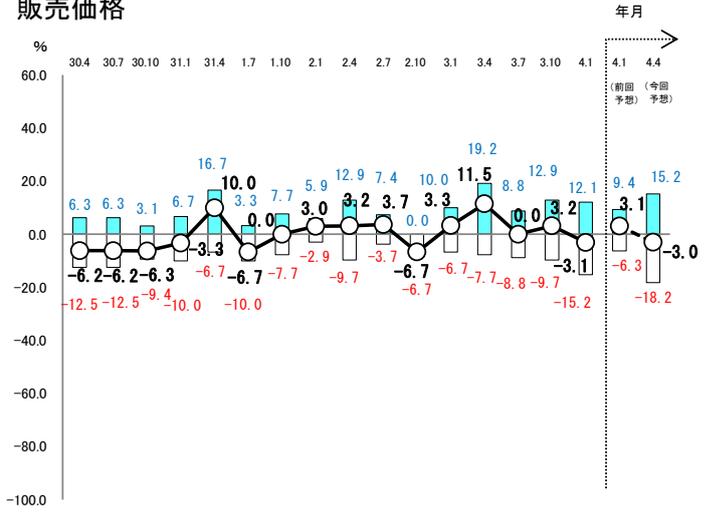
売上高



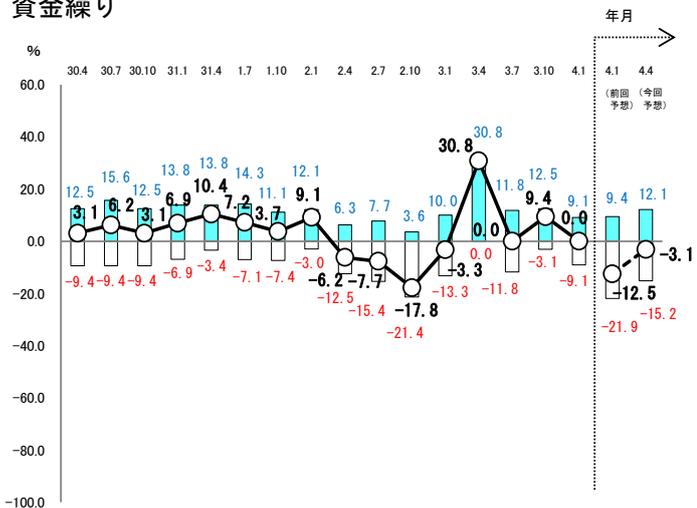
客数 (受注件数)



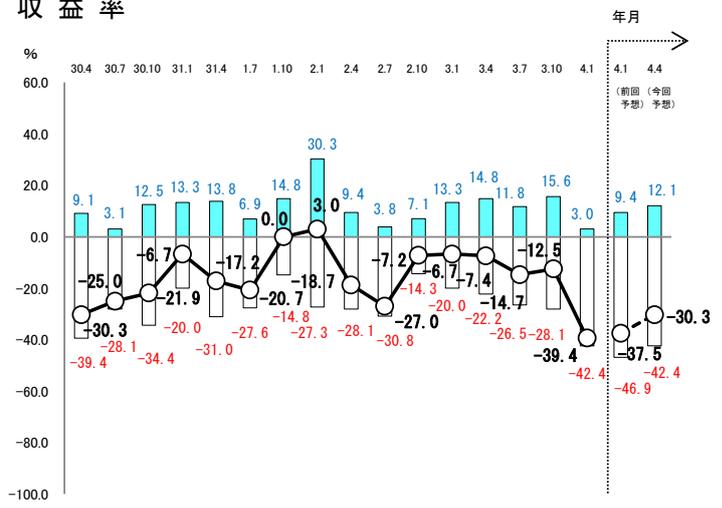
販売価格



資金繰り

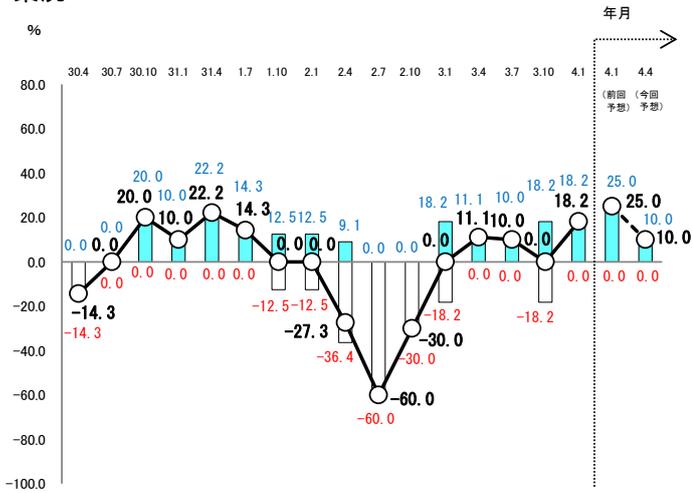


収益率

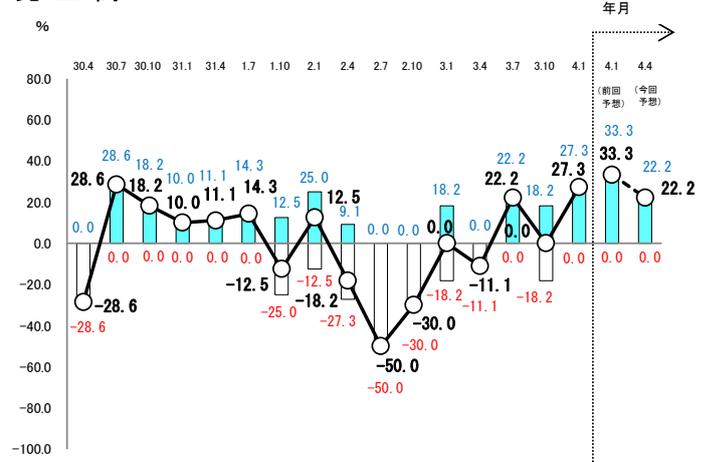


イ 情報サービス業

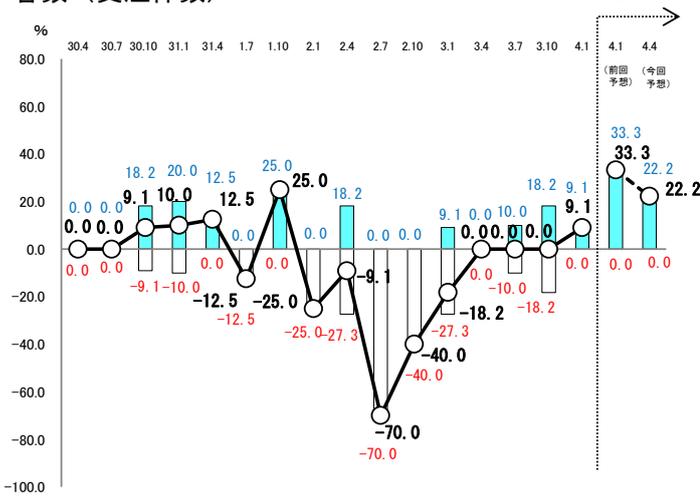
業況



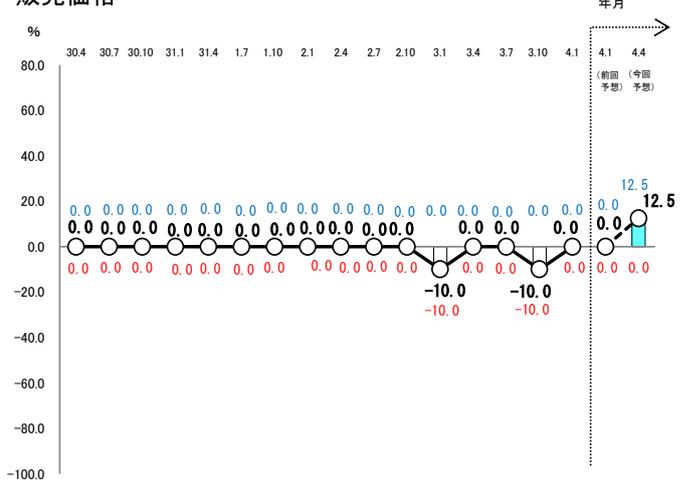
売上高



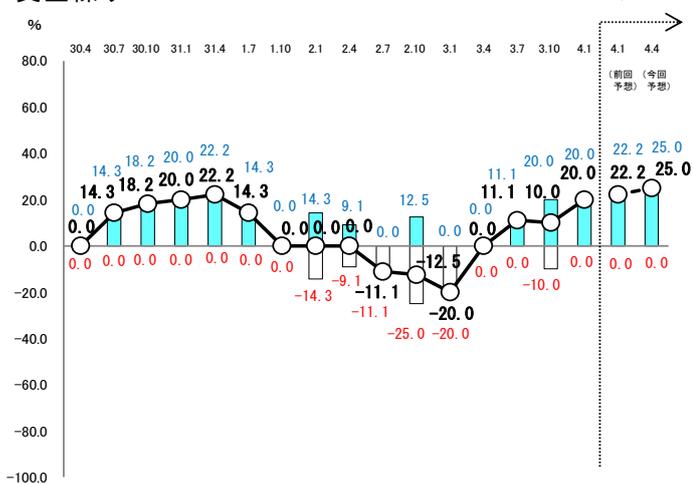
客数 (受注件数)



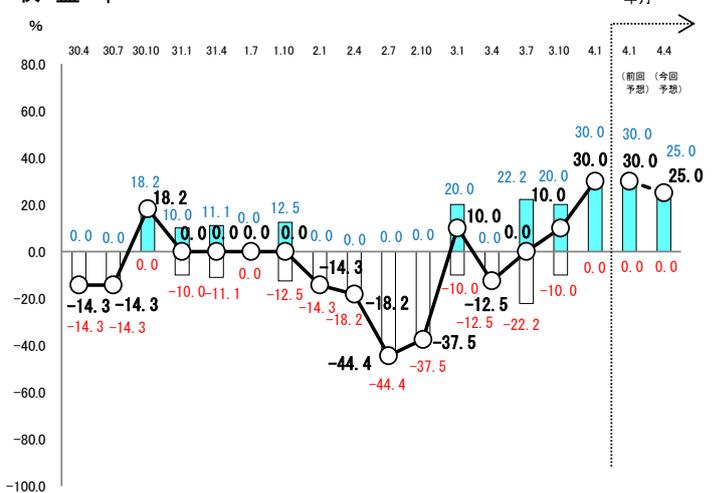
販売価格



資金繰り

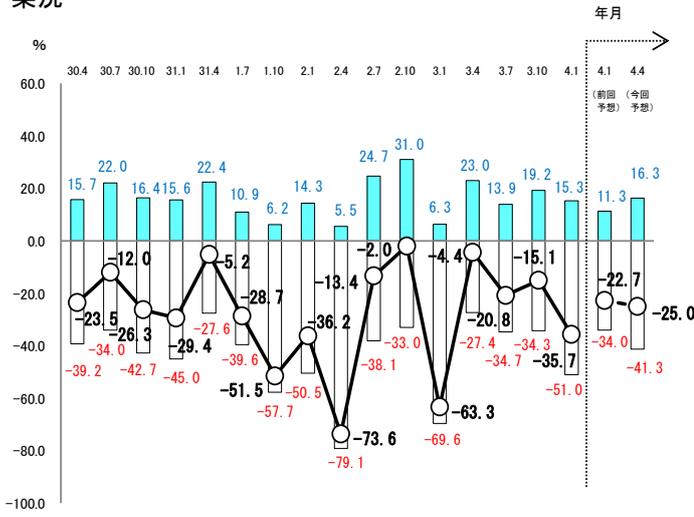


収益率

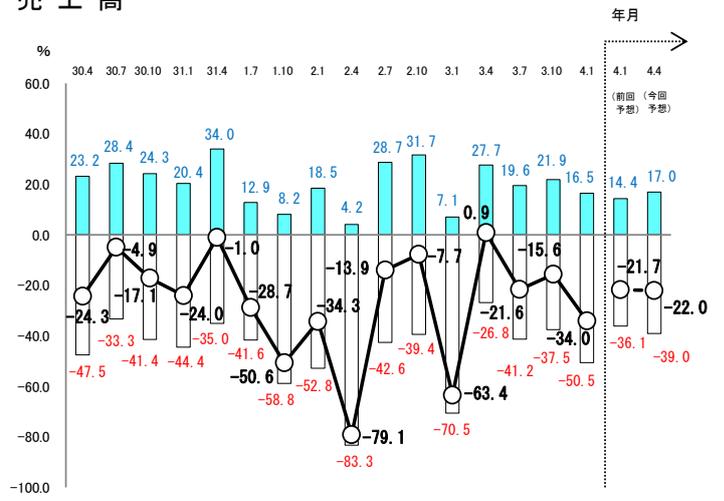


ウ 小売業

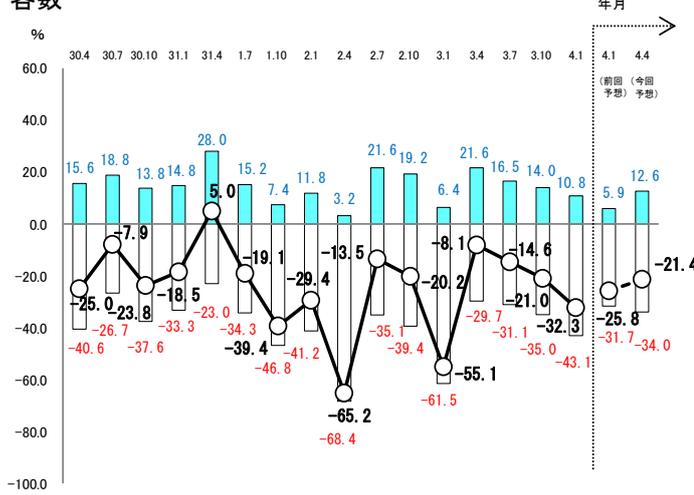
業況



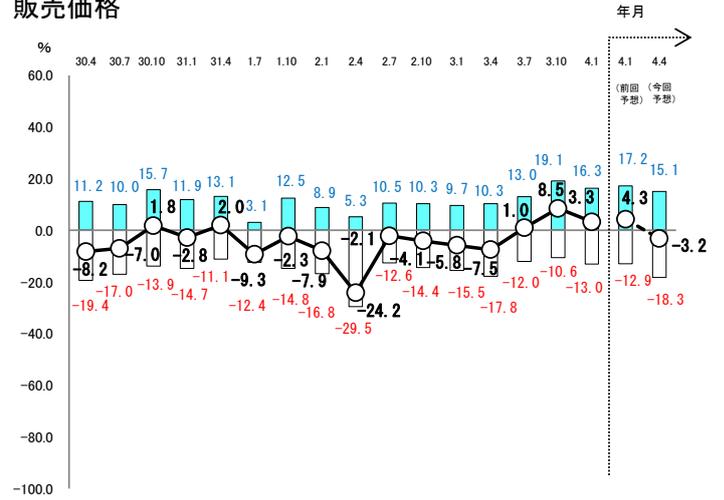
売上高



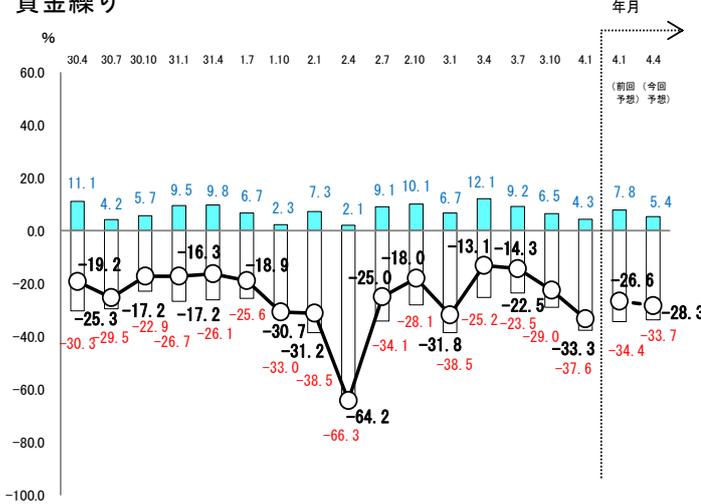
客数



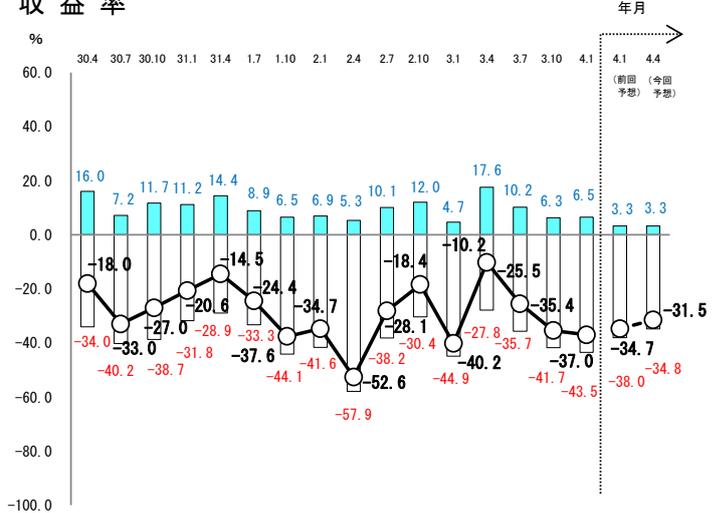
販売価格



資金繰り

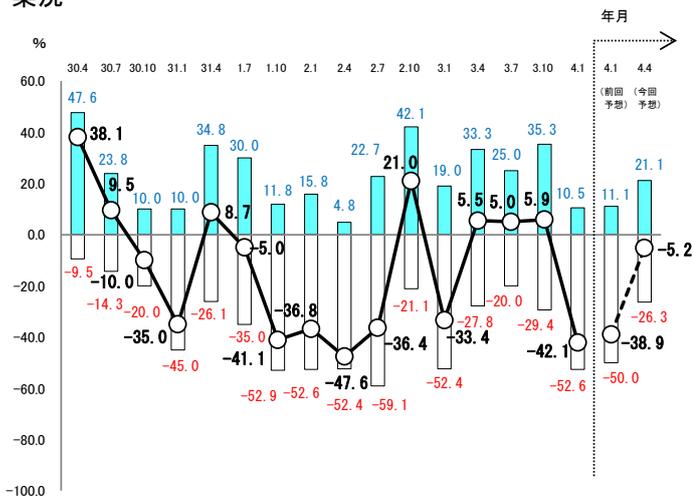


収益率

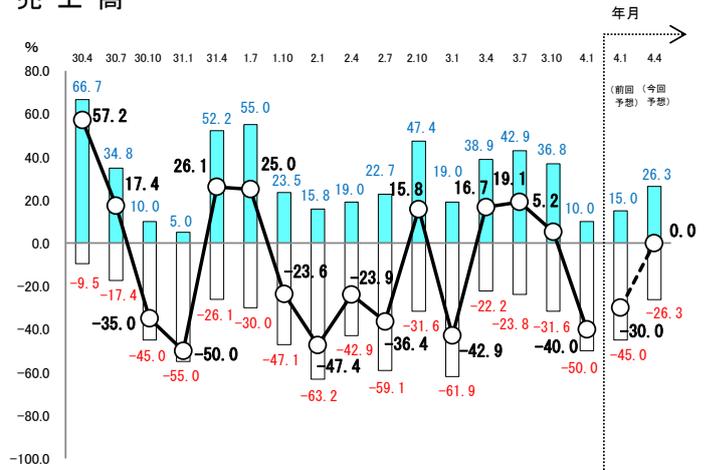


工 卸売業

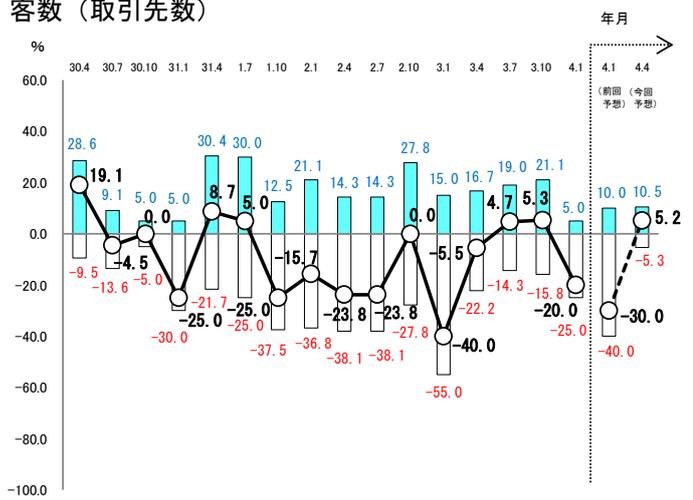
業況



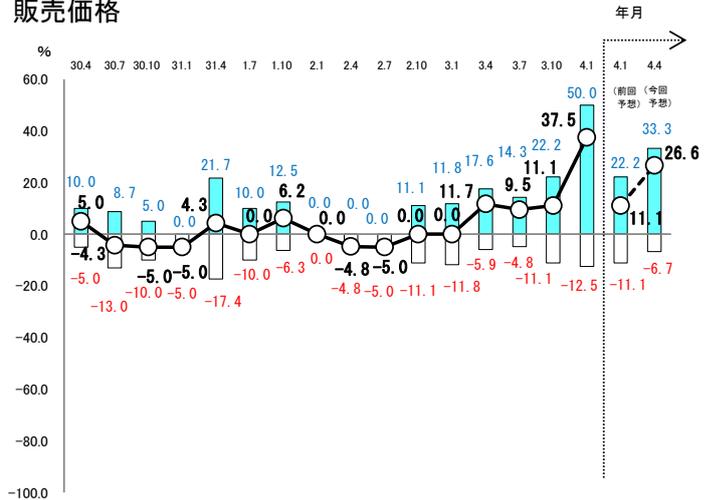
売上高



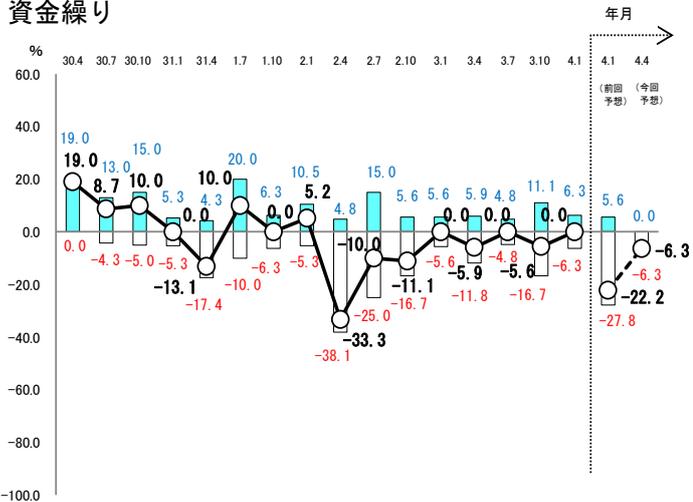
客数 (取引先数)



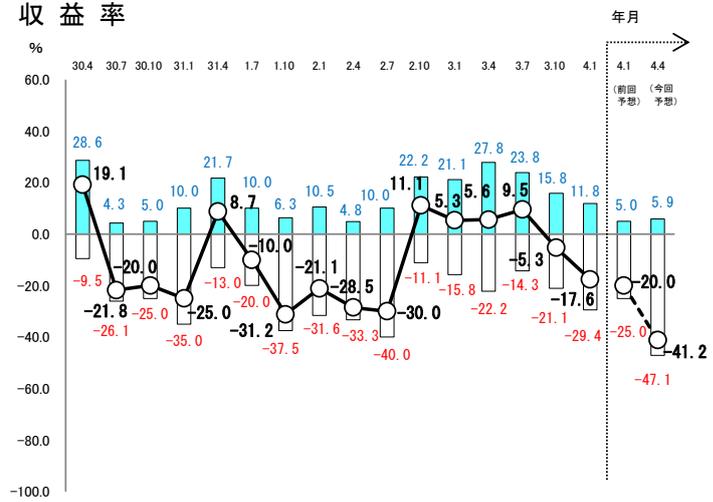
販売価格



資金繰り

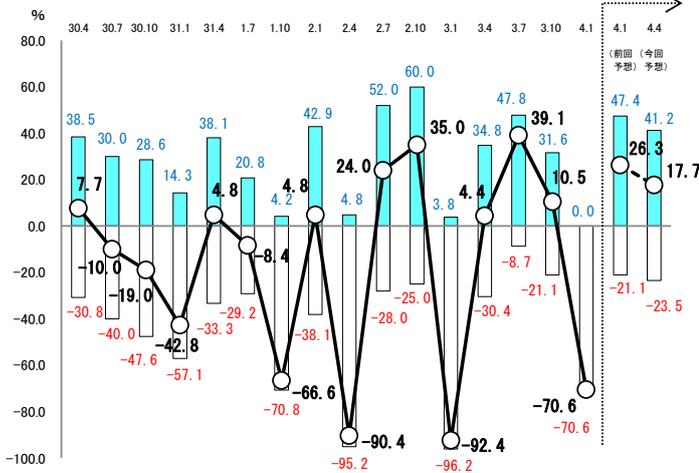


収益率

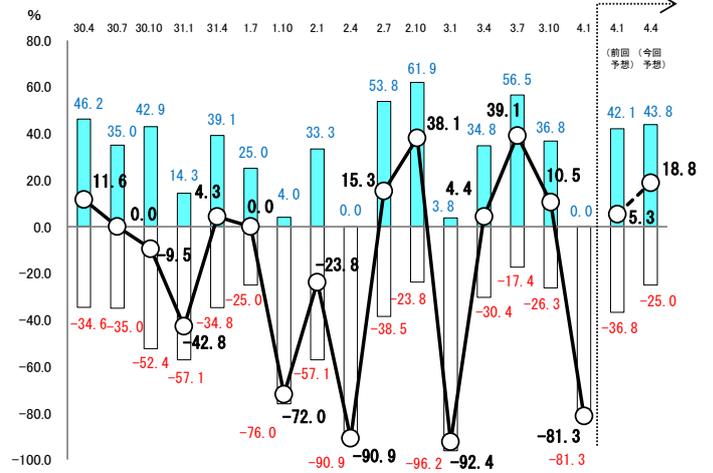


才 飲食業

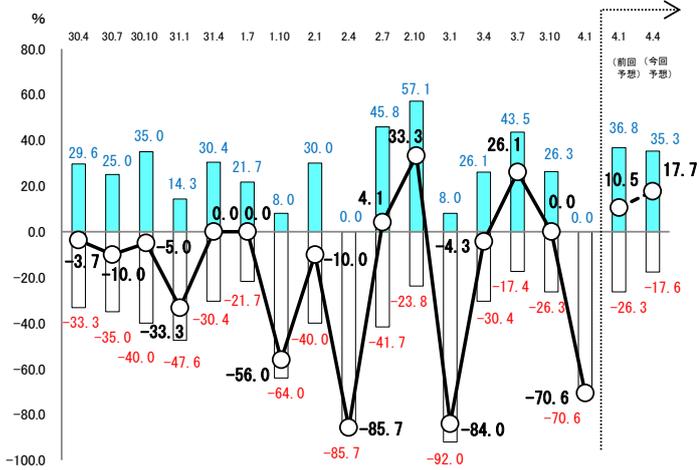
業況



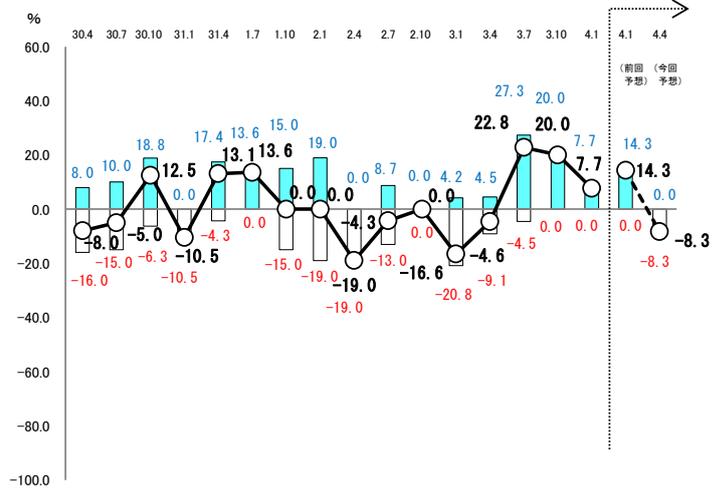
売上高



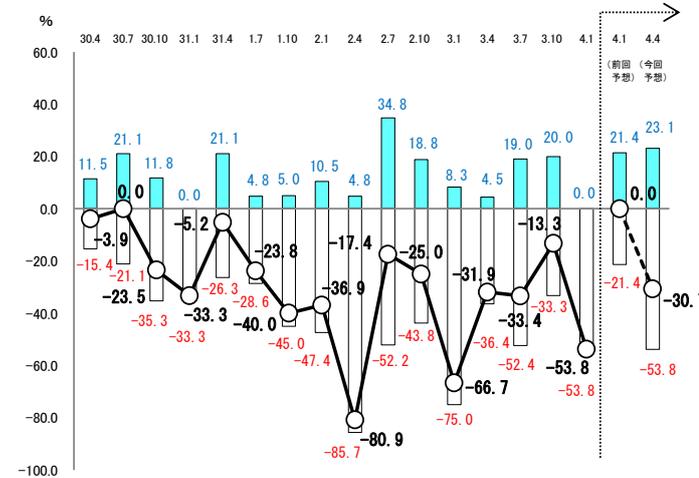
客数



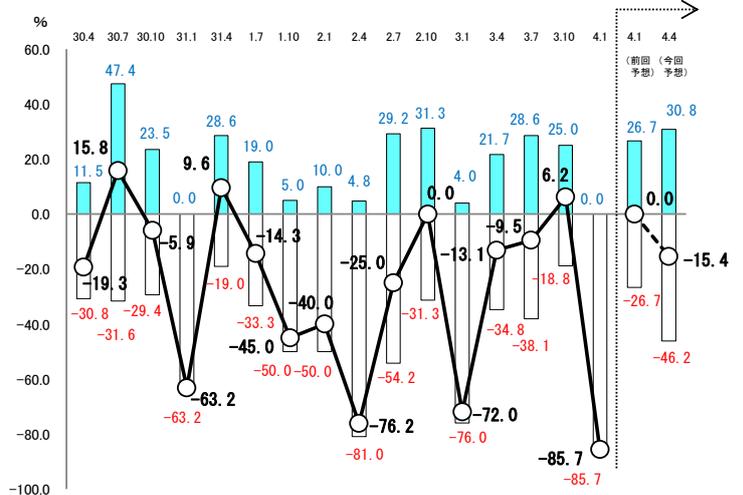
販売価格



資金繰り

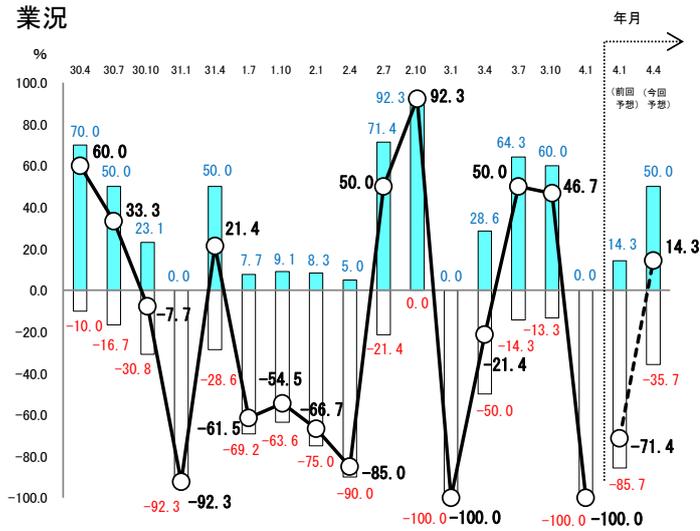


収益率

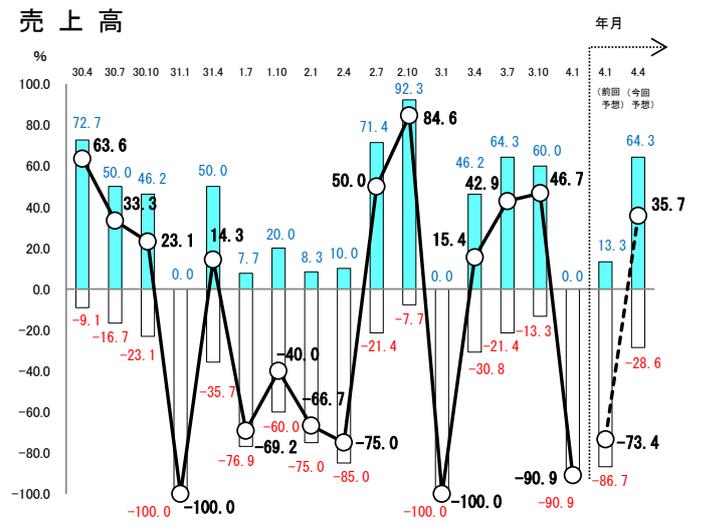


力 宿泊業

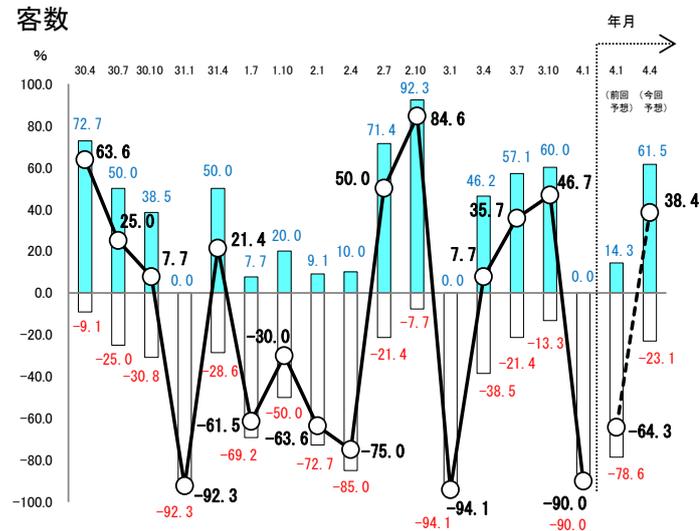
業況



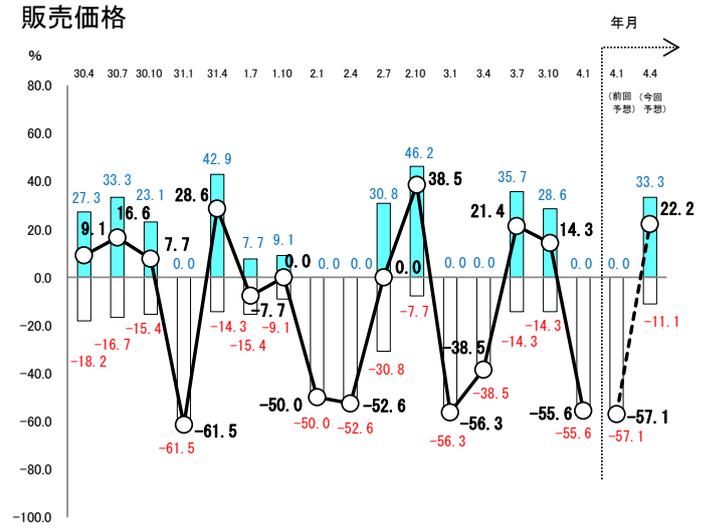
売上高



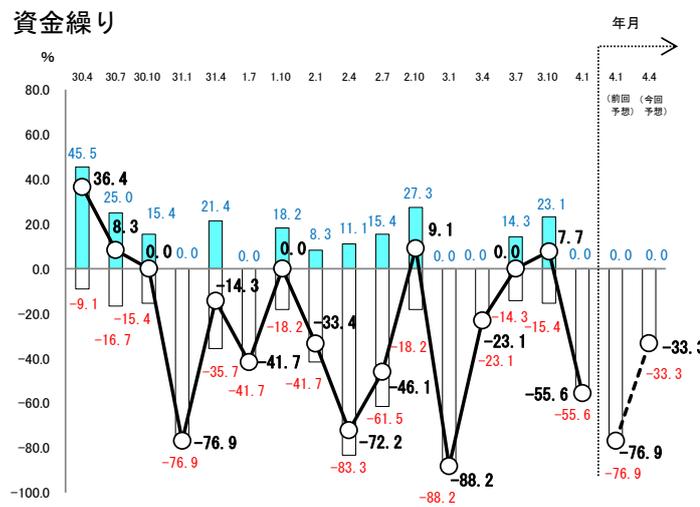
客数



販売価格



資金繰り



収益率

